

## 第4章 地域における子育て

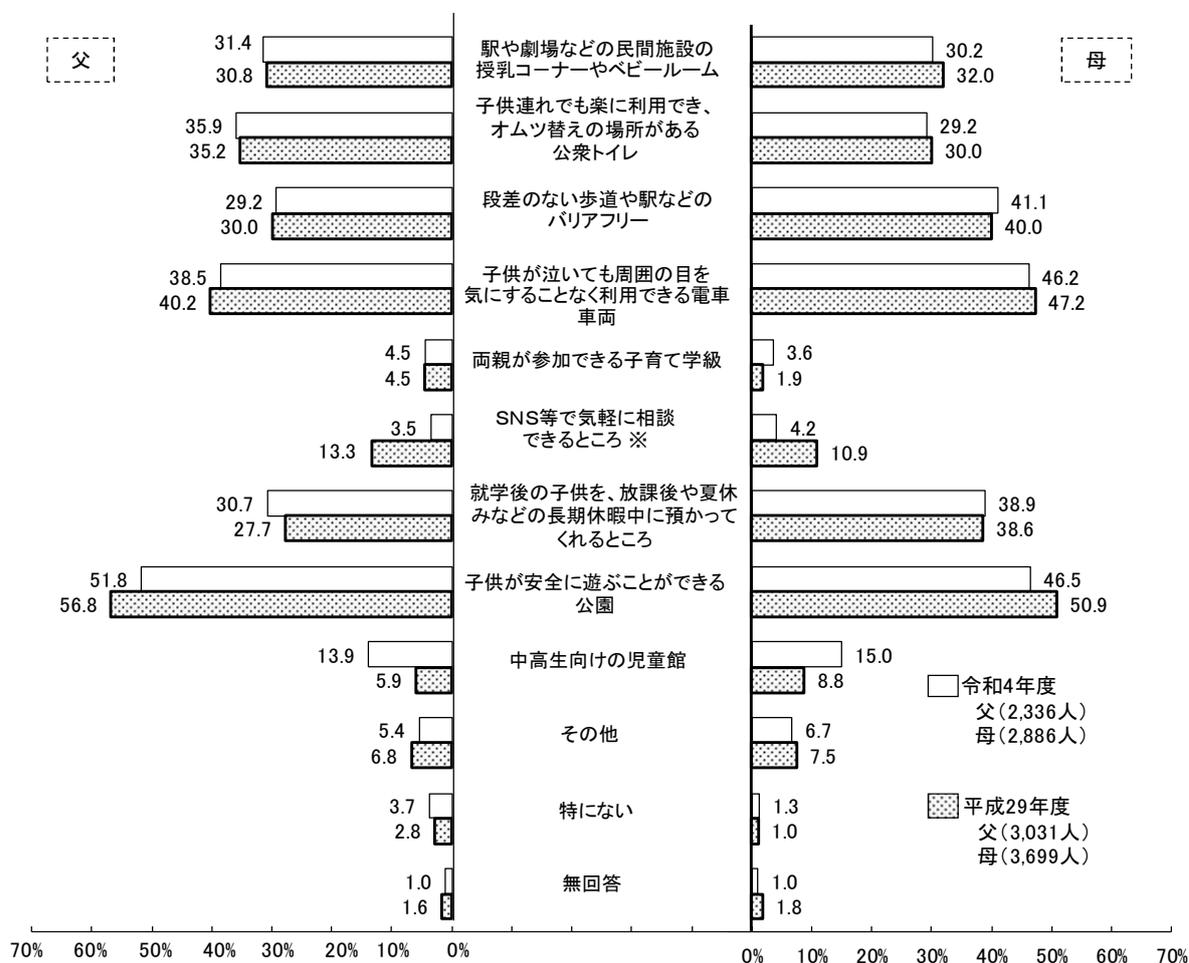
### 1 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕

#### (1) 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－29年度調査との比較

父母ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高い

対象者全員に子育てをしていく上で、又はこれまで子育てしてきた経験から、整備してほしいものは何かを聞いたところ、父母ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高く（父 51.8%、母 46.5%、）次いで、「子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車車両」について、父 38.5%、母 46.2%となっている。（図Ⅲ-4-1）

図Ⅲ-4-1 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－29年度調査との比較



(注) ※は、平成29年度調査では「夜間・休日を問わず、気軽に相談できる場所」としていた。

(2) 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－性・年齢階級別

母は、「30～34歳」以下の階級では、「子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車車両」の割合が、「35～39歳」から「45～49歳」の階級では、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高い

子育てをしていく上で整備してほしいものを性・年齢階級別にみると、父は、全ての年齢階級において「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高くなっている（46.4%～54.2%）。

母は、「30～34歳」以下の階級では、「子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車車両」の割合が最も高く（45.0%～63.6%）、「35～39歳」から「45～49歳」の階級では、「子供が安全に遊ぶことができる公園」が最も高く（45.8%～48.9%）、「50歳以上」の階級は、「段差のない歩道や駅などのバリアフリー」が43.7%で最も高くなっている。（表Ⅲ-4-1）

表Ⅲ-4-1 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	授乳や劇場などの民間施設のム	駅や劇場などの民間施設のム	公共交通機関の場所有り	子供連れでも楽しめる場所	段差のない歩道や駅などのバリアフリー	電車車両	子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる	両親が参加できる子育て学級	SNS等で気軽に相談できる	夏休みなどの長期休暇中に預かってくれるところ	就学後の子供を、放課後や	子供が安全に遊ぶことができる公園	中高生向けの児童館	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (5,202)	30.7	32.2	35.7	42.8	4.0	3.8	35.3	48.9	14.5	6.1	2.3	1.0				
父	100.0 (2,336)	31.4	35.9	29.2	38.5	4.5	3.5	30.7	51.8	13.9	5.4	3.7	1.0				
29歳以下	100.0 (38)	50.0	47.4	26.3	50.0	5.3	-	26.3	<u>50.0</u>	7.9	5.3	-	2.6				
30～34歳	100.0 (249)	45.4	38.2	36.9	45.0	5.6	2.0	32.5	<u>47.0</u>	7.6	6.0	-	0.8				
35～39歳	100.0 (518)	33.6	41.1	29.0	37.6	4.6	2.1	34.2	<u>54.2</u>	10.6	6.2	2.7	1.0				
40～44歳	100.0 (663)	31.7	33.5	28.4	41.0	4.5	4.5	29.7	<u>54.0</u>	15.8	5.7	3.9	0.8				
45～49歳	100.0 (538)	24.0	34.4	28.6	35.9	3.0	3.9	28.3	<u>52.4</u>	16.5	4.6	4.6	1.3				
50歳以上	100.0 (330)	27.0	32.1	26.7	33.0	5.5	4.2	30.6	<u>46.4</u>	16.4	4.5	6.4	1.2				
母	100.0 (2,866)	30.2	29.2	41.1	46.2	3.6	4.2	38.9	46.5	15.0	6.7	1.3	1.0				
29歳以下	100.0 (88)	52.3	33.0	44.3	<u>63.6</u>	4.5	2.3	23.9	44.3	2.3	4.5	-	-				
30～34歳	100.0 (371)	44.7	33.2	44.2	<u>45.0</u>	3.2	3.8	40.4	42.9	6.2	8.1	1.3	1.3				
35～39歳	100.0 (741)	35.8	31.2	38.6	48.6	3.4	3.5	40.1	<u>48.9</u>	11.7	7.4	1.1	0.7				
40～44歳	100.0 (820)	26.3	29.9	40.7	45.0	3.5	4.0	39.3	<u>48.3</u>	17.4	6.6	1.2	2.0				
45～49歳	100.0 (601)	21.5	26.0	41.1	44.8	3.8	6.0	39.9	<u>45.8</u>	17.3	5.3	0.8	0.5				
50歳以上	100.0 (245)	17.6	21.2	<u>43.7</u>	42.0	4.1	3.3	35.1	41.6	29.0	6.9	3.3	0.4				

(3) 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－地域別

区部、市・町・村部ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高く、市・町・村部においては5割超

子育てをしていく上で整備してほしいものを地域別にみると、区部、市・町・村部ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高くなっている（47.3%、53.2%）。また、「段差のない歩道や駅などのバリアフリー」の割合は、区部 38.1%、市・町・村部 29.4%となっており、区部の方が 8.7 ポイント高くなっている。（表Ⅲ-4-2）

表Ⅲ-4-2 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－地域別

	総数	授乳や 駅や劇場 コナール やベビ ーグル ーム	公衆 オムツ 替えの 場所が ある	子供連 れでも 楽に利 用でき 、	段差の ない歩 道や駅 などの バリア フリー	電車車 両	子供が 泣いて も周囲 の目を 気にす ること なく利 用でき る	両親が 参加で きる子 育て学 級	SNS等 で気軽 に相談 できる ところ	夏休み などの 長期休 暇中に 預かっ てくれ るところ	就学後 の子供 を、放 課後や	子供が 安全に 遊ぶこ とができ る公園	中高生 向けの 児童館	その他	特にな い	無回答
総数	100.0 (5,202)	30.7	32.2	35.7	42.8	4.0	3.8	35.3	48.9	14.5	6.1	2.3	1.0			
区部	100.0 (3,793)	31.4	32.4	<u>38.1</u>	42.4	4.1	3.8	34.7	<u>47.3</u>	13.7	6.2	2.3	1.1			
区中央部	100.0 (268)	29.1	24.6	42.2	40.7	3.4	2.2	38.1	56.0	13.1	7.1	1.5	0.7			
区南部	100.0 (389)	36.5	33.9	33.4	39.6	4.1	2.8	34.7	49.9	12.9	5.7	3.1	0.8			
区西南部	100.0 (557)	33.4	33.8	42.2	42.0	4.3	4.1	35.4	44.0	12.4	7.4	2.7	1.1			
区西部	100.0 (592)	33.4	33.3	39.2	40.9	3.5	2.7	31.1	49.2	14.2	6.9	1.9	1.4			
区西北部	100.0 (851)	28.7	33.5	32.2	43.8	4.0	4.8	35.8	47.9	17.3	6.6	1.9	1.4			
区東北部	100.0 (555)	30.3	30.6	37.3	44.1	4.5	3.2	37.7	43.6	9.5	5.2	3.4	1.3			
区東部	100.0 (581)	30.3	33.0	43.7	43.5	4.5	4.8	31.7	45.3	13.9	5.0	1.9	0.7			
市・町・村部	100.0 (1,409)	28.9	31.6	<u>29.4</u>	43.6	3.7	4.0	36.8	<u>53.2</u>	16.7	5.8	2.4	0.9			
西多摩	100.0 (90)	25.6	34.4	22.2	41.1	6.7	7.8	34.4	60.0	16.7	3.3	2.2	1.1			
南多摩	100.0 (426)	28.4	30.8	29.1	43.7	3.3	5.6	38.0	53.1	16.9	5.2	3.1	0.2			
北多摩西部	100.0 (126)	23.8	27.0	20.6	45.2	7.1	4.0	38.1	57.1	21.4	5.6	1.6	-			
北多摩南部	100.0 (419)	33.7	33.4	33.7	43.9	3.3	1.9	33.7	52.3	16.0	6.9	3.1	0.7			
北多摩北部	100.0 (348)	26.4	31.3	29.6	43.1	2.6	3.7	39.1	51.4	15.8	6.0	1.1	2.0			

(4) 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－共働きの状況別

「就学後の子供を、放課後や夏休みなどの長期休暇中に預かってくれるところ」の割合は、父母ともに、共働き世帯の方が共働きでない世帯よりも高い

子育てをしていく上で整備してほしいものを共働きの状況別にみると、共働き世帯と共働きでない世帯の父母ともに「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高くなっている(46.9%～58.9%)。

「就学後の子供を、放課後や夏休みなどの長期休暇中に預かってくれるところ」の割合は、父母ともに、共働き世帯の方が共働きでない世帯よりも高くなっている(父 34.6%、19.6%、母 41.4%、27.3%)。(表Ⅲ-4-3)

表Ⅲ-4-3 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－共働きの状況別

	総数	授乳や駅や劇場などの民間施設のム	公共オムツ替えの場所がある	子供連れでも楽に利用できる	段差のない歩道や駅などの	電車車両	子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる	両親が参加できる子育て学級	SNS等で気軽に相談できる	預かってくれるところ	就学後の子供を、放課後や夏休みなどの長期休暇中に	就学後の子供を、放課後や夏休みなどの長期休暇中に	子供が安全に遊ぶことができる公園	中高生向けの児童館	その他	特にない	無回答
父	100.0 (2,301)	31.6	36.0	29.4	38.6	4.5	3.4	30.8	52.0	13.7	5.4	3.5	1.0				
共働き世帯	100.0 (1,491)	31.0	35.9	28.4	39.2	3.8	3.0	<u>34.6</u>	<u>50.0</u>	13.3	5.0	3.8	1.1				
共働きでない世帯	100.0 (465)	33.3	35.3	32.3	38.1	4.9	4.3	<u>19.6</u>	<u>58.9</u>	13.8	7.1	3.2	0.9				
母	100.0 (2,465)	32.3	30.2	41.4	45.4	3.9	3.9	38.4	48.1	13.2	6.9	1.1	0.8				
共働き世帯	100.0 (1,491)	34.3	30.1	41.2	44.7	3.7	3.8	<u>41.4</u>	<u>46.9</u>	12.3	6.6	0.8	0.8				
共働きでない世帯	100.0 (465)	28.8	32.3	43.4	43.9	5.2	3.9	<u>27.3</u>	<u>51.2</u>	13.1	8.4	1.5	0.9				

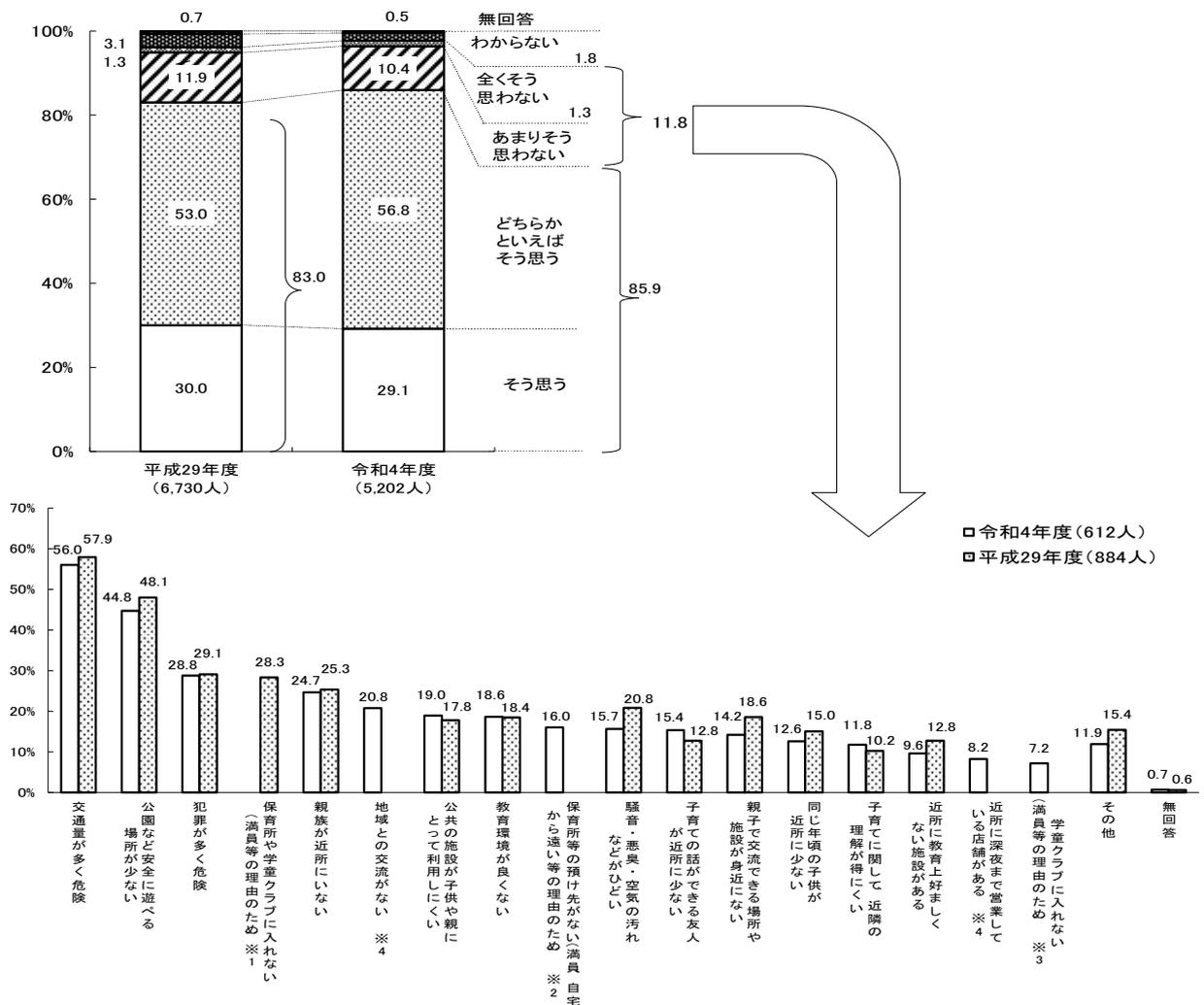
## 2 安心して子育てできる地域か

### (1) 安心して子育てできる地域か及び安心して子育てできない理由—29年度調査との比較

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は8割超

対象者全員に自分の住んでいる地域が、安心して子育てできる地域かどうか聞いたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、85.9%となっている。  
 また、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した父母（612人）に、その理由を聞いたところ、「交通量が多く危険」の割合が56.0%で最も高くなっている。（図Ⅲ-4-2）

図Ⅲ-4-2 安心して子育てできる地域か及び安心して子育てできない理由  
 —29年度調査との比較



(注) 平成 29 年度調査では※1 としていた選択肢について、令和 4 年度調査では※2 と※3 に再構築して調査を実施したため、※1 については令和 4 年度のデータは存在せず、※2 と※3 については平成 29 年度のデータは存在しない。

(注) ※4 は平成 29 年度調査では選択肢を設けていないため、平成 29 年度のデータは存在しない。

(2) 安心して子育てできる地域か—地域別

区部、市・町・村部ともに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は8割超

安心して子育てできる地域かどうかを地域別にみると、区部、市・町・村部ともに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は8割を超えている（86.0%、85.7%）。

（表Ⅲ-4-4）

表Ⅲ-4-4 安心して子育てできる地域か—地域別

	総数	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	わからない	無回答
総数	100.0 (5,202)	29.1	56.8	10.4	1.3	1.8	0.5
区部	100.0 (3,793)	30.1	55.9	10.4	1.4	1.7	0.5
		86.0					
区中央部	100.0 (268)	32.1	52.6	11.6	1.9	1.5	0.4
区南部	100.0 (389)	37.3	54.2	6.4	1.0	0.8	0.3
区西南部	100.0 (557)	34.5	55.1	8.4	0.7	0.9	0.4
区西部	100.0 (592)	28.4	54.2	14.0	1.7	1.2	0.5
区西北部	100.0 (851)	28.7	56.6	10.2	1.5	2.4	0.6
区東北部	100.0 (555)	24.5	57.7	12.1	2.3	2.7	0.7
区東部	100.0 (581)	29.3	58.2	9.6	0.7	1.5	0.7
市・町・村部	100.0 (1,409)	26.6	59.1	10.4	1.1	2.2	0.5
		85.7					
西多摩	100.0 (90)	23.3	48.9	17.8	2.2	7.8	-
南多摩	100.0 (426)	26.1	58.9	12.2	1.2	1.6	-
北多摩西部	100.0 (126)	22.2	59.5	13.5	2.4	2.4	-
北多摩南部	100.0 (419)	30.5	61.8	5.7	0.7	0.5	0.7
北多摩北部	100.0 (348)	25.0	58.6	10.9	0.9	3.4	1.1

(3) 安心して子育てできない理由〔複数回答〕—地域別

区部は「交通量が多く危険」、市・町・村部は「公園など安全に遊べる場所が少ない」の割合が、それぞれ最も高い

安心して子育てできない理由を地域別にみると、区部では「交通量が多く危険」の割合が59.5%で最も高く、市・町・村部（46.6%）と比べて12.9ポイント高くなっている。

市・町・村部では、「公園など安全に遊べる場所が少ない」の割合が50.9%で最も高く、区部（42.5%）と比べて8.4ポイント高くなっている。（表Ⅲ-4-5）

表Ⅲ-4-5 安心して子育てできない理由〔複数回答〕—地域別

	総数	公園など安全に遊べる場所が少ない	同じ年頃の子供が近所に少ない	子育てに関して、近隣の理解が得にくい	地域との交流がない	親族が近所にいない	近所に少ない話ができる友人が	親子で交流できる場所や施設が身近にない	公共の施設が子供や親にとつて利用しにくい	（保育所等の預け先がない等の理由のため）	（児童クラブに入れない等の理由のため）	教育環境が良くない	交通量が多く危険	犯罪が多く危険	ひどい・悪臭・空気の汚れなどが	店舗が深夜まで営業している	近所に教育上好ましくない施設がある	その他	無回答
総数	100.0 (612)	44.8	12.6	11.8	20.8	24.7	15.4	14.2	19.0	16.0	7.2	18.6	56.0	28.8	15.7	8.2	9.6	11.9	0.7
区部	100.0 (449)	<u>42.5</u>	10.7	12.9	21.8	25.8	15.8	13.8	17.4	16.5	8.5	17.1	<u>59.5</u>	33.2	17.8	9.1	9.8	10.5	0.4
区中央部	100.0 (36)	36.1	16.7	5.6	13.9	11.1	13.9	25.0	16.7	16.7	8.3	19.4	69.4	36.1	22.2	25.0	47.2	2.8	-
区南部	100.0 (29)	51.7	6.9	13.8	27.6	27.6	24.1	24.1	10.3	10.3	10.3	20.7	62.1	41.4	37.9	10.3	6.9	10.3	-
区西南部	100.0 (51)	54.9	9.8	15.7	19.6	21.6	21.6	11.8	23.5	15.7	5.9	13.7	54.9	23.5	15.7	5.9	3.9	9.8	-
区西部	100.0 (93)	51.6	12.9	14.0	25.8	35.5	10.8	17.2	24.7	18.3	11.8	6.5	67.7	24.7	14.0	4.3	3.2	6.5	-
区西北部	100.0 (100)	41.0	14.0	14.0	18.0	27.0	21.0	7.0	16.0	16.0	5.0	13.0	66.0	33.0	20.0	9.0	7.0	5.0	2.0
区東北部	100.0 (80)	31.3	8.8	11.3	23.8	27.5	13.8	12.5	7.5	15.0	12.5	36.3	51.3	42.5	12.5	5.0	8.8	15.0	-
区東部	100.0 (60)	35.0	3.3	13.3	23.3	18.3	10.0	11.7	20.0	20.0	5.0	15.0	43.3	36.7	16.7	15.0	10.0	25.0	-
市・町・村部	100.0 (163)	<u>50.9</u>	17.8	8.6	17.8	21.5	14.1	15.3	23.3	14.7	3.7	22.7	<u>46.6</u>	16.6	9.8	5.5	9.2	16.0	1.2
西多摩	100.0 (18)	66.7	27.8	-	11.1	5.6	-	16.7	22.2	11.1	-	50.0	22.2	5.6	11.1	-	11.1	33.3	-
南多摩	100.0 (57)	40.4	24.6	12.3	28.1	26.3	26.3	12.3	15.8	21.1	5.3	12.3	56.1	22.8	17.5	12.3	14.0	8.8	1.8
北多摩西部	100.0 (20)	70.0	15.0	20.0	10.0	35.0	15.0	15.0	35.0	10.0	-	40.0	60.0	30.0	10.0	5.0	5.0	10.0	-
北多摩南部	100.0 (27)	48.1	14.8	-	14.8	11.1	11.1	3.7	25.9	18.5	7.4	18.5	44.4	11.1	3.7	-	3.7	14.8	3.7
北多摩北部	100.0 (41)	51.2	7.3	7.3	12.2	22.0	4.9	26.8	26.8	7.3	2.4	19.5	39.0	9.8	2.4	2.4	7.3	22.0	-

### 3 地域の子育て活動

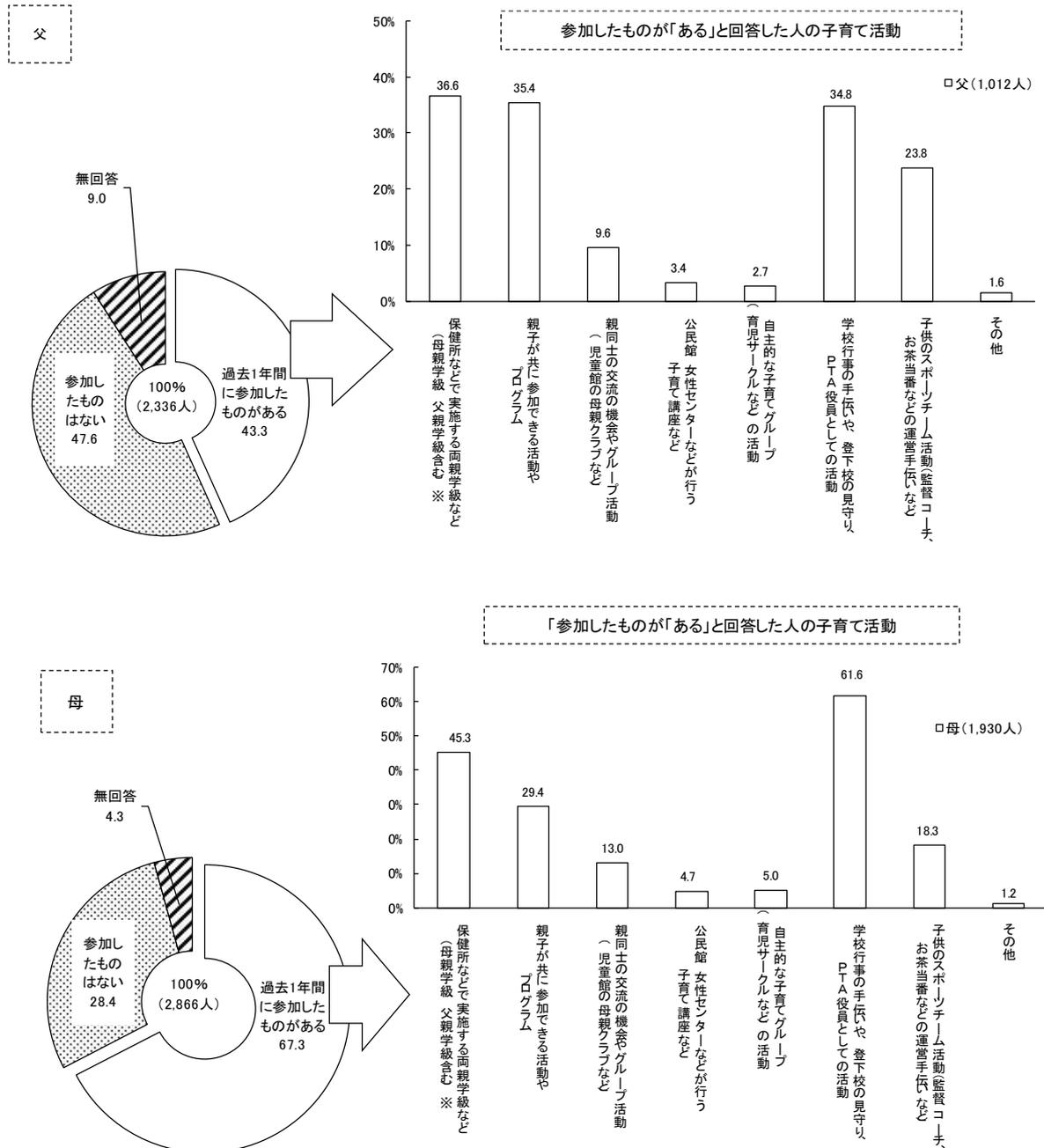
#### (1) 参加したことがある子育て活動〔複数回答〕

「過去1年間に参加したものがあある」の割合は、父が4割超、母は6割超

対象者全員に地域などの子育てのための活動の過去1年間の参加経験について聞いたところ、「過去1年間に参加したものがあある」の割合は、父が43.3%、母が67.3%となっている。

(図Ⅲ-4-3)

図Ⅲ-4-3 参加したことがある子育て活動〔複数回答〕



(注) ※について、「過去1年間によらず、これまで一度でも参加したことがある場合は選択してください」として調査を実施した。

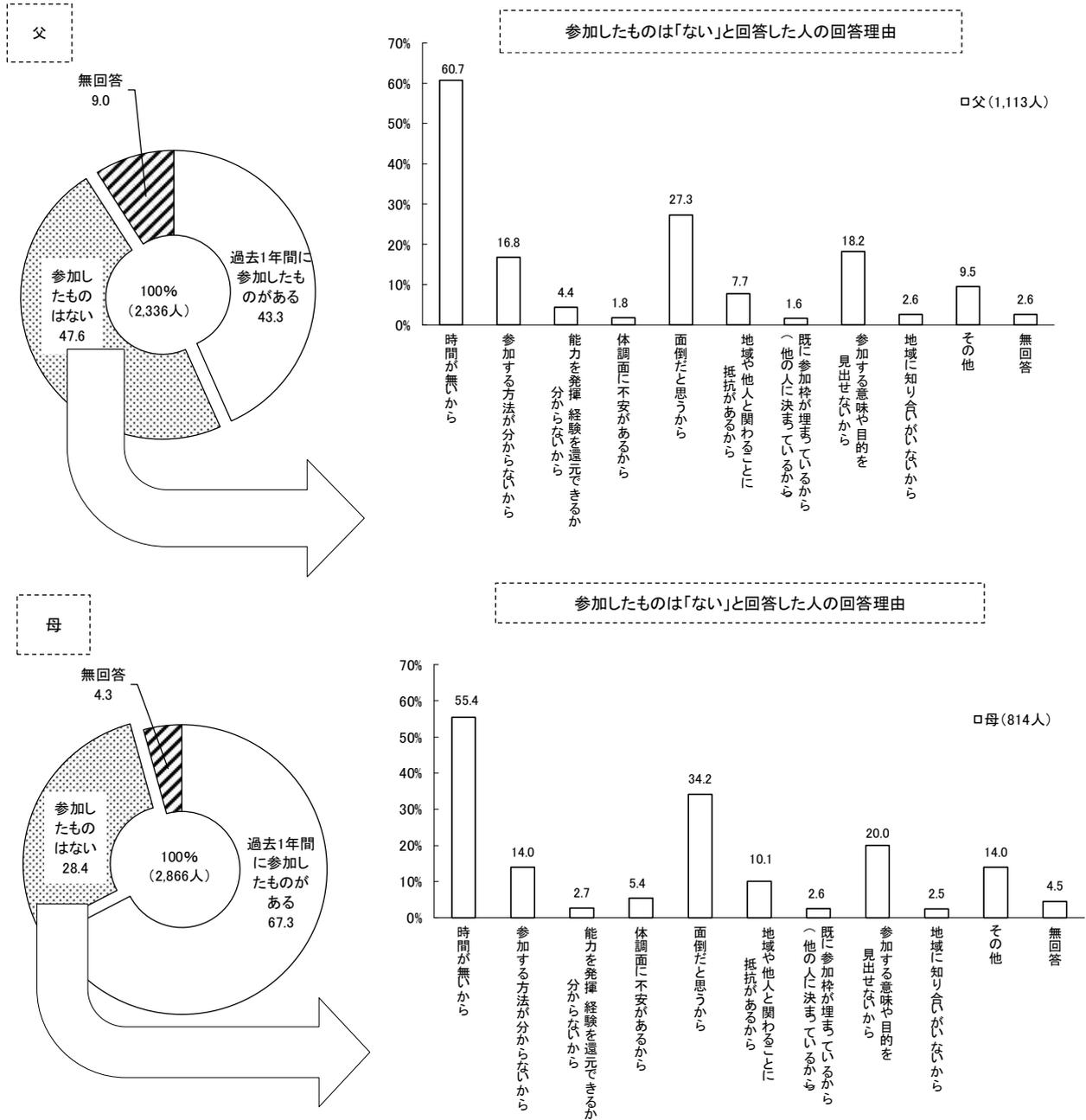
(2) 参加した子育て活動がない理由〔複数回答〕

父母ともに「時間が無いから」の割合が最も高い

対象者全員に地域などの子育てのための活動の過去1年間の参加経験について、「過去1年間に参加したものが無い」と回答した父母(1,927人)のその理由を聞いたところ、父母ともに「時間が無いから」の割合が最も高く、父が60.7%、母が55.4%となっている。

(図Ⅲ-4-4)

図Ⅲ-4-4 参加した子育て活動がない理由〔複数回答〕



(3) 参加したことがある子育て活動〔複数回答〕－性・年齢階級別

「過去1年間に参加したものがあある」母の割合は、「40歳台」の階級で約7割

過去1年間に参加したことがある子育て活動を性・年齢階級別にみると、「過去1年間に参加したものがあある」の割合は、父は「30～34歳」以上の階級で4割超、母は「40～44歳」、「45～49歳」の「40歳台」の階級で約7割となっている（父42.9%～45.5%、母71.1%～71.5%）。

一方で、「参加したものはない」の割合は、父、母ともに「29歳以下」が最も高くなっている（65.8%、42.0%）。（表Ⅲ-4-6）

表Ⅲ-4-6 参加したことがある子育て活動〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	過去1年間に参加したものがあある	保健所などで実施する両親学級など（母親学級、父親学級含む）	親子が共に参加できる活動やプログラム	母親クラブ活動（児童館のグループ活動など）	親同士の交流の機会やグールー活動（児童館のグループ活動など）	公民館・女性センターなどが行う子育て講座など	（自主的な子育てグループ活動（育児サークルなど）の活動	PTA役員としての活動	学校行事の見守り、登下校の見守り、PTA役員としての活動	（子供のスポーツチーム活動（監督、コーチ、お茶当番などの運営手伝いなど）	その他	参加したものはない	無回答
総数	100.0 (5,202)	56.6	23.9	17.8	6.7	2.4	2.4	29.6	11.4	0.7	37.0	6.4		
父	100.0 (2,336)	43.3	15.8	15.3	4.2	1.5	1.2	15.1	10.3	0.7	47.6	9.0		
29歳以下	100.0 (38)	31.6	26.3	10.5	5.3	2.6	-	-	2.6	-	<u>65.8</u>	2.6		
30～34歳	100.0 (249)	<u>43.8</u>	24.9	18.5	5.6	2.8	0.8	3.6	4.0	0.4	45.4	10.8		
35～39歳	100.0 (518)	<u>42.9</u>	19.9	14.5	5.0	0.8	1.0	11.8	8.5	0.4	47.1	10.0		
40～44歳	100.0 (663)	<u>42.5</u>	12.4	15.7	3.8	1.4	1.5	16.1	10.3	0.9	47.4	10.1		
45～49歳	100.0 (538)	<u>44.1</u>	12.6	14.9	3.2	0.9	0.9	19.5	11.9	1.1	47.8	8.2		
50歳以上	100.0 (330)	<u>45.5</u>	13.6	14.8	3.9	2.4	1.5	21.2	16.4	0.3	48.5	6.1		
母	100.0 (2,866)	67.3	30.5	19.8	8.8	3.2	3.3	41.5	12.3	0.8	28.4	4.3		
29歳以下	100.0 (88)	51.1	35.2	18.2	17.0	3.4	2.3	4.5	-	-	<u>42.0</u>	6.8		
30～34歳	100.0 (371)	58.0	37.2	26.1	14.6	4.3	4.6	13.7	3.0	0.5	37.7	4.3		
35～39歳	100.0 (741)	68.6	35.2	23.1	11.6	3.0	3.4	35.1	9.7	1.1	26.9	4.6		
40～44歳	100.0 (820)	<u>71.1</u>	29.0	19.3	6.7	3.2	3.3	49.1	13.8	0.4	24.4	4.6		
45～49歳	100.0 (601)	<u>71.5</u>	25.8	15.6	5.0	2.5	3.0	58.6	18.5	1.3	25.1	3.2		
50歳以上	100.0 (245)	60.8	20.8	13.1	4.5	3.7	2.9	48.2	18.8	0.8	35.5	3.7		

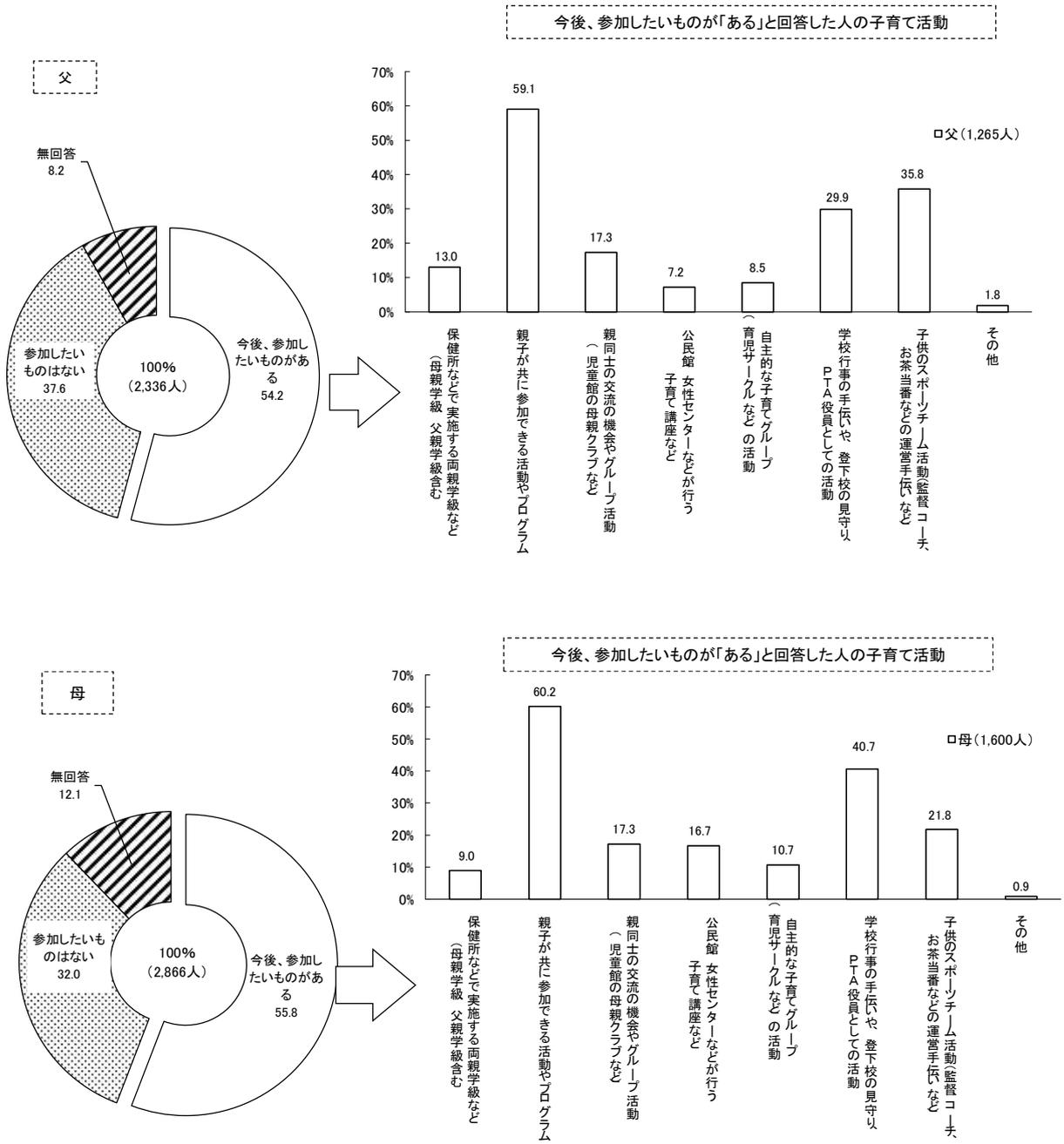
(4) 今後参加したいと思う子育て活動〔複数回答〕

「参加したいものがある」の割合は、父、母ともに5割超

対象者全員に地域などの子育てのための活動の今後の参加意向について聞いたところ、「参加したいものがある」の割合は、父が54.2%、母は55.8%となっている。

また、「参加したいものがある」と回答した父母(2,865人)に、参加したい子育て活動を聞いたところ、父母ともに「親子が共に参加できる活動やプログラム」の割合が最も高くなっている(59.1%、60.2%)。(図Ⅲ-4-5)

図Ⅲ-4-5 今後参加したいと思う子育て活動〔複数回答〕



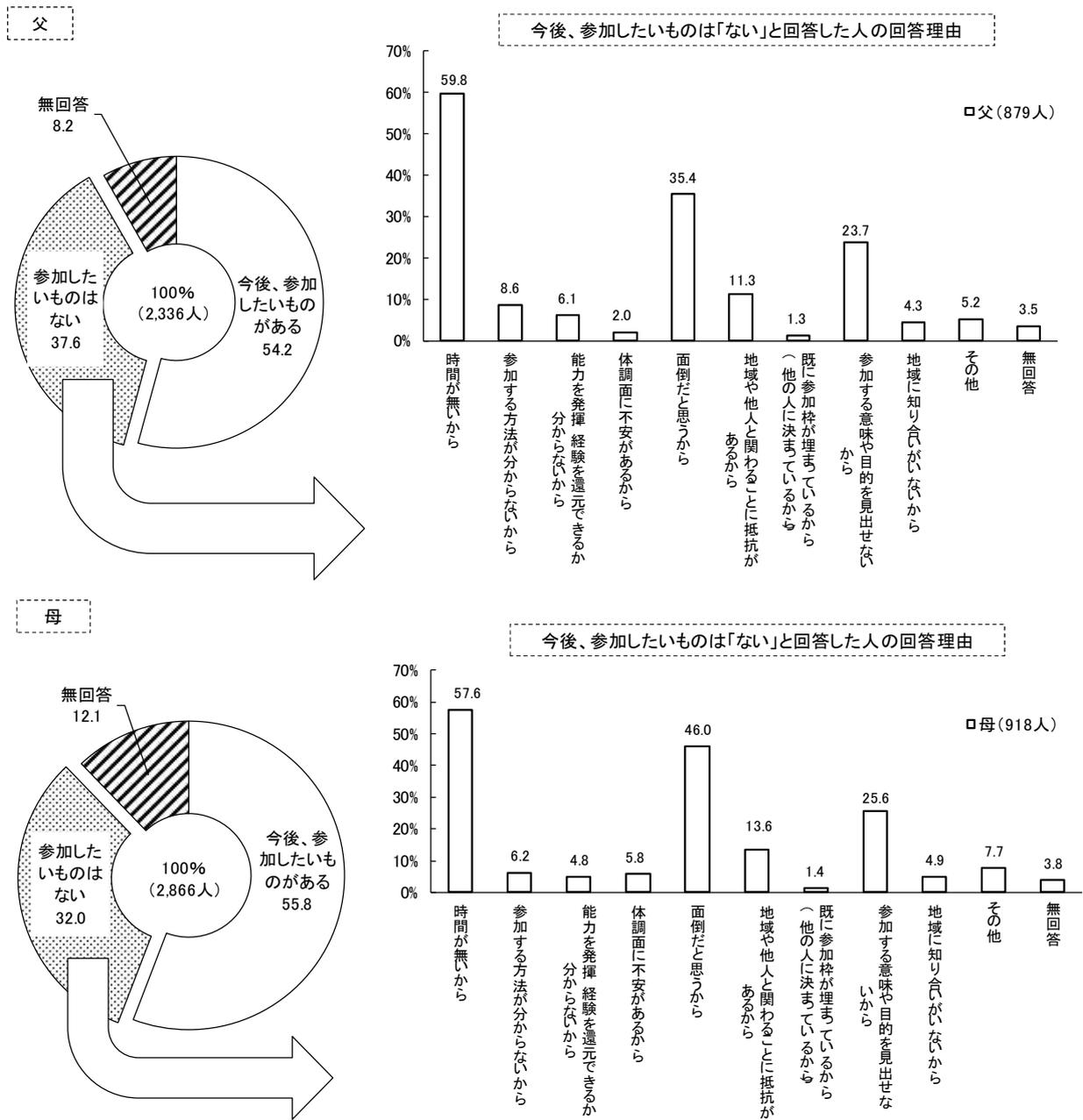
(5) 今後参加したいと思う子育て活動がない理由〔複数回答〕

父母ともに「時間が無いから」の割合が最も高い

地域などの子育てのための活動の今後の参加意向について、「参加したいものが無い」と回答した父母（1,797人）のその理由を聞いたところ、父母ともに「時間が無いから」の割合が最も高く、父が59.8%、母が57.6%となっている。

(図Ⅲ-4-6)

図Ⅲ-4-6 今後参加したいと思う子育て活動がない理由〔複数回答〕



(6) 今後参加したいと思う子育て活動〔複数回答〕－性・年齢階級別

「参加したいものがある」の割合は、父、母ともに「29歳以下」の階級が最も高い

今後参加したいと思う子育て活動を性・年齢階級別にみると、「参加したいものがある」の割合は、父母ともに「29歳以下」の割合が最も高く、父は71.1%、母は63.6%となっている。  
(表Ⅲ-4-7)

表Ⅲ-4-7 今後参加したいと思う子育て活動〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	参加したいものがある	参加したいものがある								参加したいものはない	無回答
			両親学級など（母親学級、保健所などで実施する）	親子が共に参加できる活動やプログラム	母親クラブなど（児童館のグループ活動）	親同士の交流の機会やグループ活動（児童館の）	公民館・女性センターなどが行う子育て講座など	（育児サークルなど）の活動	自主的な子育てグループの活動	PTA役員としての活動		
総数	100.0 (5,202)	55.1	5.9	32.9	9.5	6.9	5.3	19.8	15.4	0.7	34.5	10.4
父	100.0 (2,336)	54.2	7.1	32.0	9.4	3.9	4.6	16.2	19.4	1.0	37.6	8.2
29歳以下	100.0 (38)	<u>71.1</u>	15.8	50.0	13.2	2.6	2.6	7.9	31.6	0.0	26.3	2.6
30～34歳	100.0 (249)	59.4	14.1	36.9	16.1	4.8	6.4	11.6	22.1	1.2	33.7	6.8
35～39歳	100.0 (518)	56.4	9.3	34.4	11.4	5.2	6.2	17.0	23.2	0.8	36.7	6.9
40～44歳	100.0 (663)	55.1	6.9	32.3	10.0	4.5	5.0	15.1	19.2	1.2	38.0	6.9
45～49歳	100.0 (538)	48.9	4.6	27.9	6.7	3.0	3.3	16.4	15.2	1.3	39.8	11.3
50歳以上	100.0 (330)	51.5	1.5	28.5	3.9	1.5	2.1	21.2	17.3	0.3	39.1	9.4
母	100.0 (2,866)	55.8	5.0	33.6	9.6	9.3	6.0	22.7	12.2	0.5	32.0	12.1
29歳以下	100.0 (88)	<u>63.6</u>	19.3	44.3	27.3	19.3	18.2	13.6	11.4	0.0	34.1	2.3
30～34歳	100.0 (371)	63.1	12.7	43.7	17.0	9.4	10.0	16.2	11.3	0.5	27.2	9.7
35～39歳	100.0 (741)	58.4	6.7	35.1	12.3	10.7	6.5	19.6	13.5	0.5	31.4	10.1
40～44歳	100.0 (820)	56.3	1.7	35.4	7.9	9.6	5.7	24.4	11.6	0.2	30.6	13.0
45～49歳	100.0 (601)	52.7	2.0	27.5	4.7	7.5	3.3	30.1	12.6	0.7	32.4	14.8
50歳以上	100.0 (245)	40.0	1.6	19.2	2.0	4.9	1.2	21.6	10.6	0.8	44.1	15.9

## 第5章 家族のコミュニケーション

### 1 子供と一緒に過ごす時間

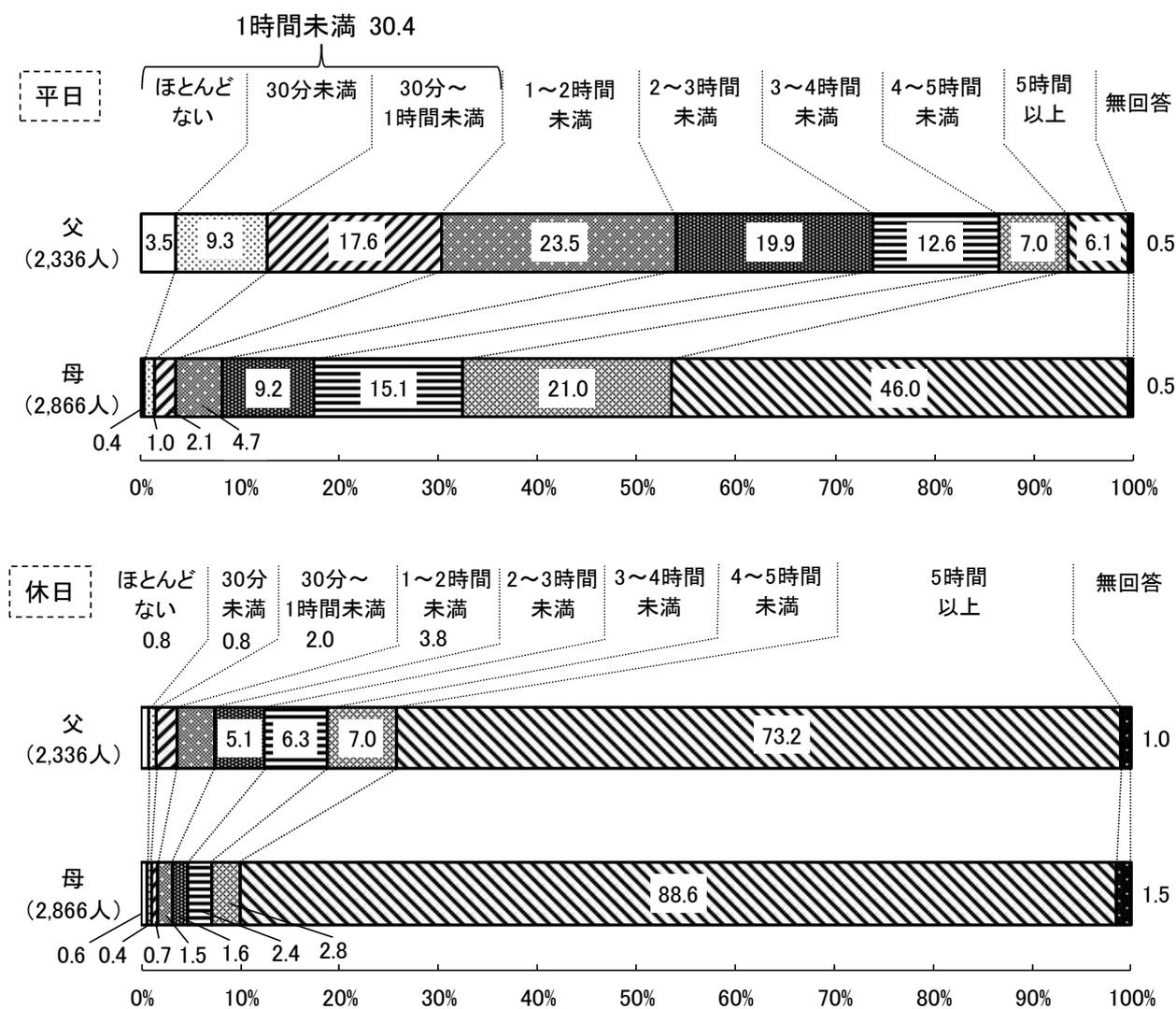
#### (1) 子供と一緒に過ごす時間（平日と休日）

休日は父母ともに「5時間以上」の割合が最も高い

対象者全員に平日及び休日に子供と一緒に過ごす時間を聞いたところ、平日に子供と一緒に過ごす時間は、父は「1～2時間未満」の割合が23.5%で最も高く、「ほとんどない」、「30分未満」、「30分～1時間未満」を合わせた「1時間未満」の割合は30.4%となっている。また、母は「5時間以上」の割合が46.0%で最も高くなっている。

一方、休日に子供と一緒に過ごす時間は、父母ともに「5時間以上」の割合が最も高くなっている（73.2%、88.6%）。(図Ⅲ-5-1)

図Ⅲ-5-1 子供と一緒に過ごす時間（平日と休日）



(2) 子供と一緒に過ごす時間（平日）－父母の1日あたりの実労働時間別

1日あたりの実労働時間が「10時間以上」の父は、「1時間未満」の割合が5割超

平日に子供と一緒に過ごす時間を父母の1日あたりの実労働時間別にみると、実労働時間が「6時間未満」の父は、子供と過ごす時間が「4～5時間未満」の割合が25.9%で他の階級と比べて最も高く、実労働時間が「10時間以上」では、「ほとんどない」、「30分未満」、「30分～1時間未満」を合わせた「1時間未満」の割合は54.0%となっている。（表Ⅲ-5-1）

表Ⅲ-5-1 子供と一緒に過ごす時間（平日）－父母の1日あたりの実労働時間別

	総数	ほとんどない	30分未満	13時間0分未満	15時間2時間未満	25時間3時間未満	35時間4時間未満	45時間5時間未満	5時間以上	無回答
総数	100.0 (5,202)	1.8	4.7	9.0	13.2	14.0	14.0	14.7	28.1	0.5
父	100.0 (2,336)	3.5	9.3	17.6	23.5	19.9	12.6	7.0	6.1	0.5
働いている	100.0 (2,147)	3.5	9.3	17.2	24.2	20.5	12.7	6.9	5.2	0.5
6時間未満	100.0 (27)	-	3.7	7.4	11.1	11.1	18.5	<u>25.9</u>	18.5	3.7
6～7時間未満	100.0 (33)	-	3.0	6.1	9.1	24.2	33.3	21.2	3.0	-
7～8時間未満	100.0 (306)	1.0	2.6	6.9	22.2	27.1	16.7	13.1	10.5	-
8～9時間未満	100.0 (714)	1.5	5.7	12.7	24.6	22.7	17.9	9.1	5.3	0.3
9～10時間未満	100.0 (472)	3.0	8.7	21.6	28.0	21.4	9.1	4.4	3.4	0.4
10時間以上	100.0 (520)	8.1	19.6	26.3	23.1	13.5	5.0	1.3	2.5	0.6
働いていない	100.0 (33)	-	6.1	9.1	9.1	9.1	15.2	6.1	45.5	-
母	100.0 (2,866)	0.4	1.0	2.1	4.7	9.2	15.1	21.0	46.0	0.5
働いている	100.0 (1,922)	0.5	1.4	2.9	6.2	11.8	19.4	26.1	31.4	0.4
6時間未満	100.0 (517)	0.2	0.4	1.9	4.1	6.8	9.1	20.3	56.1	1.2
6～7時間未満	100.0 (366)	-	0.8	1.4	4.6	10.7	19.7	32.0	30.9	-
7～8時間未満	100.0 (491)	0.6	1.8	2.9	4.9	12.8	26.3	29.1	21.6	-
8～9時間未満	100.0 (394)	1.0	2.0	4.6	8.6	15.2	24.9	25.9	17.3	0.5
9～10時間未満	100.0 (85)	-	4.7	9.4	15.3	23.5	17.6	22.4	7.1	-
10時間以上	101.0 (29)	3.4	-	-	34.5	13.8	20.7	24.1	3.4	-
働いていない	100.0 (799)	0.3	0.1	0.4	1.4	2.6	5.1	9.6	79.7	0.8

(3) 子供と一緒に過ごす時間（休日）－父母の1日あたりの実労働時間別

父母ともに、1日あたりの実労働時間にかかわらず、「5時間以上」の割合が最も高い

休日に子供と過ごす時間を父母の1日あたりの実労働時間別にみると、父母ともに、実労働時間にかかわらず、「5時間以上」の割合が最も高くなっている（66.7%～81.8%、75.9%～88.6%）。（表Ⅲ-5-2）

表Ⅲ-5-2 子供と一緒に過ごす時間（休日）－父母の1日あたりの実労働時間別

	総数	ほとんどない	30分未満	13時間0分未満	152時間未満	253時間未満	354時間未満	455時間未満	5時間以上	無回答
総数	100.0 (5,202)	0.7	0.6	1.3	2.5	3.1	4.2	4.7	81.7	1.3
父	100.0 (2,336)	0.8	0.8	2.0	3.8	5.1	6.3	7.0	73.2	1.0
働いている	100.0 (2,147)	0.7	0.7	1.9	3.6	4.9	6.3	7.0	73.9	1.0
6時間未満	100.0 (27)	-	3.7	7.4	-	3.7	11.1	3.7	<u>66.7</u>	3.7
6～7時間未満	100.0 (33)	-	-	6.1	-	3.0	3.0	6.1	<u>81.8</u>	-
7～8時間未満	100.0 (306)	1.6	0.0	1.6	2.0	2.0	7.2	6.5	<u>77.8</u>	1.3
8～9時間未満	100.0 (714)	0.3	0.4	1.3	3.9	6.4	5.9	5.5	<u>75.4</u>	1.0
9～10時間未満	100.0 (472)	0.4	0.8	2.1	5.1	5.5	5.9	8.1	<u>71.6</u>	0.4
10時間以上	100.0 (520)	1.0	0.8	2.3	2.9	4.2	6.5	7.9	<u>73.5</u>	1.0
働いていない	100.0 (33)	-	3.0	3.0	3.0	6.1	6.1	6.1	69.7	3.0
母	100.0 (2,866)	0.6	0.4	0.7	1.5	1.6	2.4	2.8	88.6	1.5
働いている	100.0 (1,922)	0.8	0.6	1.0	2.0	1.8	2.9	3.2	86.3	1.5
6時間未満	100.0 (517)	0.8	0.2	0.8	2.3	1.5	1.7	3.1	<u>87.6</u>	1.9
6～7時間未満	100.0 (366)	0.5	0.3	0.5	0.3	2.2	2.7	3.8	<u>87.7</u>	1.9
7～8時間未満	100.0 (491)	0.6	1.0	1.0	2.0	1.2	3.3	1.4	<u>88.6</u>	0.8
8～9時間未満	100.0 (394)	1.3	0.5	1.5	2.3	3.0	3.0	4.3	<u>82.5</u>	1.5
9～10時間未満	100.0 (85)	0.0	1.2	1.2	4.7	-	7.1	7.1	<u>78.8</u>	-
10時間以上	100.0 (29)	3.4	-	3.4	6.9	3.4	3.4	-	<u>75.9</u>	3.4
働いていない	100.0 (799)	0.3	-	-	0.4	1.0	0.6	1.9	94.4	1.5

## 2 夫婦のコミュニケーション

### (1) 夫婦のコミュニケーションー29年度調査との比較

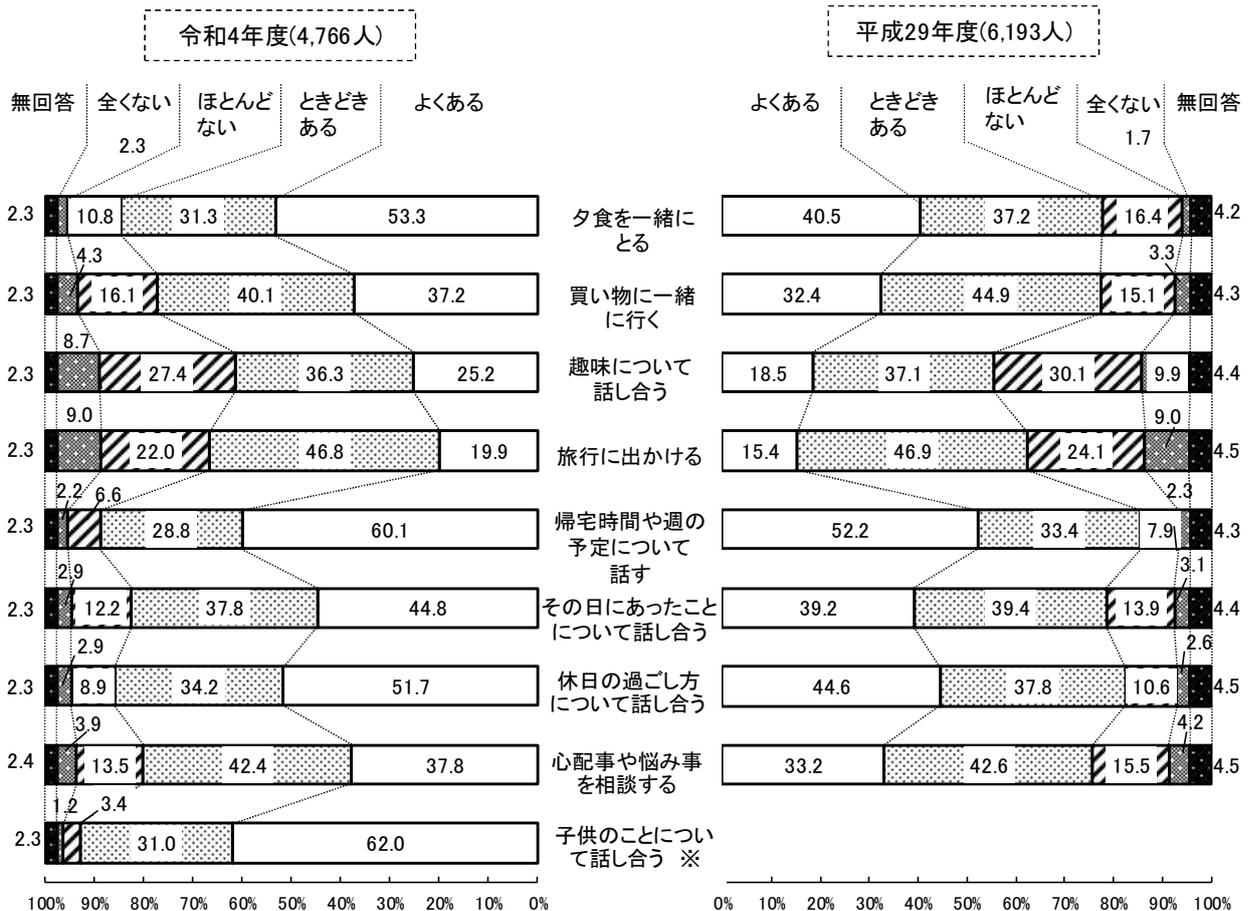
全ての項目において「よくある」の割合は、29年度調査よりも高い

配偶者のいる父母(4,766人)に、夫婦のコミュニケーションについて聞いたところ、「よくある」の割合は、「子供のことについて話し合う」が最も高く、62.0%となっている。

また、全ての項目において「よくある」の割合は、29年度調査よりも高くなっている。

(図Ⅲ-5-2)

図Ⅲ-5-2 夫婦のコミュニケーションー29年度調査との比較



(注) ※は、平成29年度調査では項目を設けていないため、平成29年度のデータは存在しない。

(2) 夫婦のコミュニケーションー父母の1日あたりの実労働時間別

「夕食を一緒に取る」ことが「よくある」父の割合は、1日あたりの実労働時間が「6～7時間未満」が最も高く、約8割

夫婦のコミュニケーションを父母の1日あたりの実労働時間別にみると、「夕食を一緒にとる」ことが「よくある」父の割合は、「6～7時間未満」が78.1%で最も高く、実労働時間が増えるにつれて減り、「10時間以上」では37.8%となっている。

一方、母は実労働時間が「10時間以上」が61.1%で最も高く、「6～7時間未満」が45.3%で最も低い。(表Ⅲ-5-3)

表Ⅲ-5-3 夫婦のコミュニケーションー父母の1日あたりの実労働時間別

	夕食を一緒にとる						買い物と一緒にいく						趣味について話し合う					
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答
総数	100.0 (4,766)	53.3	31.3	10.8	2.3	2.3	100.0 (4,766)	37.2	40.1	16.1	4.3	2.3	100.0 (4,766)	25.2	36.3	27.4	8.7	2.3
父	100.0 (2,301)	57.1	29.5	10.1	1.5	1.9	100.0 (2,301)	41.4	39.4	14.0	3.3	1.9	100.0 (2,301)	24.7	37.3	28.5	7.7	1.9
働いている	100.0 (2,119)	56.6	29.9	10.0	1.5	1.9	100.0 (2,119)	41.3	39.6	14.0	3.2	1.9	100.0 (2,119)	24.2	37.7	28.7	7.5	1.9
6時間未満	100.0 (27)	77.8	11.1	7.4	-	3.7	100.0 (27)	22.2	59.3	11.1	3.7	3.7	100.0 (27)	22.2	48.1	18.5	7.4	3.7
6～7時間未満	100.0 (32)	78.1	15.6	3.1	-	3.1	100.0 (32)	62.5	31.3	3.1	-	3.1	100.0 (32)	31.3	43.8	15.6	6.3	3.1
7～8時間未満	100.0 (302)	76.5	18.5	3.3	0.3	1.3	100.0 (302)	50.3	37.1	10.6	0.7	1.3	100.0 (302)	30.8	36.1	27.5	4.3	1.3
8～9時間未満	100.0 (696)	65.2	23.7	7.3	1.7	2.0	100.0 (696)	44.4	37.5	13.4	2.9	1.9	100.0 (696)	25.0	36.8	29.2	7.0	2.0
9～10時間未満	100.0 (470)	50.2	36.4	10.0	1.7	1.7	100.0 (470)	40.2	40.2	14.0	3.8	1.7	100.0 (470)	25.1	38.3	27.2	7.7	1.7
10時間以上	100.0 (518)	37.8	39.8	18.9	1.5	1.9	100.0 (518)	33.6	43.1	17.2	4.2	1.9	100.0 (518)	18.7	38.0	32.4	8.9	1.9
働いていない	100.0 (30)	83.3	6.7	6.7	3.3	-	100.0 (30)	63.3	23.3	6.7	6.7	-	100.0 (30)	43.3	36.7	13.3	6.7	-
母	100.0 (2,465)	49.8	33.0	11.5	3.0	2.7	100.0 (2,465)	33.3	40.6	18.1	5.3	2.7	100.0 (2,465)	25.6	35.5	26.5	9.7	2.7
働いている	100.0 (1,559)	48.7	33.0	12.3	3.1	2.8	100.0 (1,559)	32.4	39.8	19.5	5.6	2.6	100.0 (1,559)	24.5	36.3	26.9	9.6	2.7
6時間未満	100.0 (456)	46.7	33.6	13.8	3.7	2.2	100.0 (456)	28.1	42.5	20.6	6.6	2.2	100.0 (456)	25.2	33.8	28.9	9.6	2.4
6～7時間未満	100.0 (320)	45.3	38.4	12.5	1.3	2.5	100.0 (320)	34.4	41.3	18.1	4.1	2.2	100.0 (320)	22.8	39.4	25.9	9.7	2.2
7～8時間未満	100.0 (388)	48.7	32.0	11.6	4.4	3.4	100.0 (388)	35.1	34.3	20.9	6.4	3.4	100.0 (388)	25.3	36.9	24.0	10.6	3.4
8～9時間未満	100.0 (290)	54.8	29.3	10.3	3.1	2.4	100.0 (290)	34.1	41.4	16.9	5.5	2.1	100.0 (290)	26.2	35.5	27.6	8.6	2.1
9～10時間未満	100.0 (56)	53.6	28.6	10.7	1.8	5.4	100.0 (56)	26.8	39.3	25.0	3.6	5.4	100.0 (56)	17.9	33.9	35.7	7.1	5.4
10時間以上	100.0 (18)	61.1	22.2	11.1	0.0	5.6	100.0 (18)	38.9	27.8	22.2	5.6	5.6	100.0 (18)	22.2	44.4	22.2	5.6	5.6
働いていない	100.0 (768)	50.8	33.7	10.0	2.7	2.7	100.0 (768)	34.0	42.8	15.6	4.7	2.9	100.0 (768)	27.6	34.1	25.4	10.0	2.9

表Ⅲ-5-3 夫婦のコミュニケーションー父母の1日あたりの実労働時間別（続き）

	旅行に出かける						帰宅時間や週の予定について話す						その日にあったことについて話し合う						
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	
総数	100.0 (4,766)	19.9	46.8	22.0	9.0	2.3	100.0 (4,766)	60.1	28.8	6.6	2.2	2.3	100.0 (4,766)	44.8	37.8	12.2	2.9	2.3	
父	100.0 (2,301)	21.1	46.1	22.8	8.0	2.0	100.0 (2,301)	57.9	32.2	6.3	1.7	1.9	100.0 (2,301)	42.4	41.9	11.4	2.4	1.9	
働いている	100.0 (2,119)	21.0	46.1	22.7	8.2	2.0	100.0 (2,119)	58.1	32.2	6.2	1.6	1.9	100.0 (2,119)	42.4	41.7	11.7	2.3	1.9	
6時間未満	100.0 (27)	11.1	40.7	29.6	14.8	3.7	100.0 (27)	59.3	37.0	-	-	3.7	100.0 (27)	44.4	40.7	11.1	-	3.7	
6～7時間未満	100.0 (32)	34.4	40.6	21.9	-	3.1	100.0 (32)	78.1	15.6	3.1	-	3.1	100.0 (32)	65.6	25.0	6.3	-	3.1	
7～8時間未満	100.0 (302)	26.5	44.7	19.9	7.6	1.3	100.0 (302)	64.6	28.1	5.0	1.0	1.3	100.0 (302)	49.0	39.4	8.3	2.0	1.3	
8～9時間未満	100.0 (696)	23.0	44.3	24.3	6.6	1.9	100.0 (696)	61.6	29.7	4.9	1.9	1.9	100.0 (696)	45.8	42.4	7.8	2.0	2.0	
9～10時間未満	100.0 (470)	20.4	46.4	20.9	10.4	1.9	100.0 (470)	56.6	33.4	6.4	1.9	1.7	100.0 (470)	38.1	43.4	13.6	3.2	1.7	
10時間以上	100.0 (518)	16.2	50.0	23.4	8.1	2.3	100.0 (518)	49.8	37.5	9.3	1.4	2.1	100.0 (518)	37.5	40.9	17.6	2.1	1.9	
働いていない	100.0 (30)	33.3	33.3	23.3	10.0	-	100.0 (30)	56.7	36.7	3.3	3.3	-	100.0 (30)	63.3	30.0	3.3	3.3	-	
母	100.0 (2,465)	18.8	47.4	21.2	9.9	2.7	100.0 (2,465)	62.1	25.6	6.9	2.7	2.7	100.0 (2,465)	46.9	34.0	13.0	3.4	2.7	
働いている	100.0 (1,559)	18.1	48.4	21.9	8.9	2.8	100.0 (1,559)	59.7	27.6	7.2	2.8	2.8	100.0 (1,559)	43.1	35.9	14.6	3.7	2.8	
6時間未満	100.0 (456)	17.8	49.1	21.5	9.2	2.4	100.0 (456)	58.3	28.7	6.6	3.7	2.6	100.0 (456)	45.2	35.5	12.9	3.9	2.4	
6～7時間未満	100.0 (320)	17.2	48.4	23.4	8.8	2.2	100.0 (320)	60.6	27.5	8.1	1.6	2.2	100.0 (320)	43.1	37.8	14.1	2.8	2.2	
7～8時間未満	100.0 (388)	16.2	47.4	23.7	9.5	3.1	100.0 (388)	62.4	22.7	8.2	3.4	3.4	100.0 (388)	40.5	36.1	16.0	4.4	3.1	
8～9時間未満	100.0 (290)	22.4	47.9	18.6	8.3	2.8	100.0 (290)	58.3	31.7	6.2	1.7	2.1	100.0 (290)	44.5	32.4	16.9	3.4	2.8	
9～10時間未満	100.0 (56)	17.9	53.6	16.1	7.1	5.4	100.0 (56)	51.8	30.4	8.9	3.6	5.4	100.0 (56)	33.9	46.4	10.7	3.6	5.4	
10時間以上	100.0 (18)	16.7	55.6	22.2	-	5.6	100.0 (18)	72.2	22.2	-	-	5.6	100.0 (18)	55.6	22.2	16.7	-	5.6	
働いていない	100.0 (768)	19.9	46.5	19.0	11.8	2.7	100.0 (768)	66.5	22.1	6.0	2.6	2.7	100.0 (768)	54.6	30.1	9.9	2.7	2.7	
		休日の過ごし方について話し合う						心配事や悩み事を相談する						子供のことについて話し合う					
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	
総数	100.0 (4,766)	51.7	34.2	8.9	2.9	2.3	100.0 (4,766)	37.8	42.4	13.5	3.9	2.4	100.0 (4,766)	62.0	31.0	3.4	1.2	2.3	
父	100.0 (2,301)	51.7	36.1	8.2	2.1	2.0	100.0 (2,301)	33.4	45.5	15.4	3.7	2.0	100.0 (2,301)	60.0	33.8	3.1	1.1	2.0	
働いている	100.0 (2,119)	51.7	36.0	8.2	2.0	2.0	100.0 (2,119)	33.2	45.5	15.5	3.7	2.0	100.0 (2,119)	59.6	34.1	3.1	1.1	2.1	
6時間未満	100.0 (27)	44.4	44.4	7.4	-	3.7	100.0 (27)	29.6	48.1	14.8	3.7	3.7	100.0 (27)	63.0	33.3	-	-	3.7	
6～7時間未満	100.0 (32)	71.9	21.9	3.1	-	3.1	100.0 (32)	43.8	43.8	6.3	3.1	3.1	100.0 (32)	78.1	15.6	3.1	-	3.1	
7～8時間未満	100.0 (302)	56.0	34.4	7.6	0.7	1.3	100.0 (302)	38.4	43.4	13.6	3.3	1.3	100.0 (302)	65.9	30.1	2.3	0.3	1.3	
8～9時間未満	100.0 (696)	53.2	35.8	7.2	1.9	2.0	100.0 (696)	36.2	45.3	13.2	3.3	2.0	100.0 (696)	61.5	32.5	2.9	1.0	2.2	
9～10時間未満	100.0 (470)	51.1	34.0	9.6	3.4	1.9	100.0 (470)	30.4	44.9	19.1	3.8	1.7	100.0 (470)	56.2	36.4	4.0	1.5	1.9	
10時間以上	100.0 (518)	47.3	40.2	8.7	1.7	2.1	100.0 (518)	29.0	47.7	16.8	4.2	2.3	100.0 (518)	54.4	39.0	3.3	1.2	2.1	
働いていない	100.0 (30)	73.3	20.0	3.3	3.3	-	100.0 (30)	56.7	33.3	6.7	3.3	-	100.0 (30)	86.7	10.0	3.3	-	-	
母	100.0 (2,465)	51.6	32.5	9.5	3.7	2.7	100.0 (2,465)	41.9	39.4	11.8	4.1	2.8	100.0 (2,465)	63.9	28.4	3.7	1.3	2.7	
働いている	100.0 (1,559)	49.5	33.8	9.9	4.1	2.7	100.0 (1,559)	38.7	41.3	13.1	4.0	2.8	100.0 (1,559)	61.6	30.7	3.8	1.2	2.7	
6時間未満	100.0 (456)	47.6	34.9	10.3	4.8	2.4	100.0 (456)	41.7	39.5	12.7	3.7	2.4	100.0 (456)	61.8	30.7	3.5	1.8	2.2	
6～7時間未満	100.0 (320)	55.3	30.6	8.1	3.8	2.2	100.0 (320)	39.1	43.4	11.3	4.1	2.2	100.0 (320)	62.2	30.6	4.1	0.9	2.2	
7～8時間未満	100.0 (388)	47.4	34.3	10.6	4.6	3.1	100.0 (388)	35.1	42.5	13.7	5.2	3.6	100.0 (388)	61.6	29.1	5.2	0.8	3.4	
8～9時間未満	100.0 (290)	51.0	33.4	10.3	2.8	2.4	100.0 (290)	39.3	39.7	15.5	3.1	2.4	100.0 (290)	60.3	33.4	2.4	1.4	2.4	
9～10時間未満	100.0 (56)	42.9	39.3	7.1	5.4	5.4	100.0 (56)	35.7	48.2	7.1	3.6	5.4	100.0 (56)	64.3	25.0	3.6	1.8	5.4	
10時間以上	100.0 (18)	55.6	27.8	11.1	-	5.6	100.0 (18)	44.4	22.2	22.2	5.6	5.6	100.0 (18)	66.7	27.8	-	-	5.6	
働いていない	100.0 (768)	56.1	29.7	8.5	3.0	2.7	100.0 (768)	47.9	36.2	8.9	4.3	2.7	100.0 (768)	67.6	25.1	3.3	1.3	2.7	

(3) 夫婦のコミュニケーションー相談相手の有無別

相談相手が「いないので欲しい」父母は、相談相手が「いる」父母に比べて、全ての行動で「全くない」の割合が高い

夫婦のコミュニケーションを相談相手の有無別にみると、全ての行動において、「全くない」割合は、父母ともに相談相手が「いる」よりも「いないので欲しい」の方が高くなっている（父・いる 0.7%～6.8%、いないので欲しい 4.3%～16.0%、母・いる 0.9%～9.6%、いないので欲しい 6.5%～26.1%）。

父の「子供のことについて話し合う」ことが「よくある」割合は、相談相手が「いる」が 64.0%で、「いないので欲しい」(36.2%) に比べて 27.8 ポイント高く、母の「帰宅時間や週の予定について話す」の割合は、相談相手が「いる」が 63.2%で、「いないので欲しい」(34.8%) に比べて 28.4 ポイント高くなっている。（表Ⅲ-5-4）

表Ⅲ-5-4 夫婦のコミュニケーションー相談相手の有無別

	夕食を一緒にとる						買い物と一緒にいく						趣味について話し合う					
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答
総数	100.0 (4,766)	53.3	31.3	10.8	2.3	2.3	100.0 (4,766)	37.2	40.1	16.1	4.3	2.3	100.0 (4,766)	25.2	36.3	27.4	8.7	2.3
父	100.0 (2,301)	57.1	29.5	10.1	1.5	1.9	100.0 (2,301)	41.4	39.4	14.0	3.3	1.9	100.0 (2,301)	24.7	37.3	28.5	7.7	1.9
いる	100.0 (1,932)	58.5	29.1	9.4	1.2	1.7	100.0 (1,932)	43.7	39.2	12.6	2.7	1.7	100.0 (1,932)	26.2	39.0	26.8	6.3	1.7
いないので欲しい	100.0 (94)	50.0	29.8	14.9	4.3	1.1	100.0 (94)	29.8	46.8	18.1	4.3	1.1	100.0 (94)	13.8	37.2	35.1	12.8	1.1
必要ない	100.0 (252)	50.0	31.3	13.1	2.8	2.8	100.0 (252)	29.8	37.7	23.0	6.7	2.8	100.0 (252)	17.9	23.4	39.3	16.7	2.8
母	100.0 (2,465)	49.8	33.0	11.5	3.0	2.7	100.0 (2,465)	33.3	40.6	18.1	5.3	2.7	100.0 (2,465)	25.6	35.5	26.5	9.7	2.7
いる	100.0 (2,360)	50.1	33.2	11.2	2.8	2.8	100.0 (2,360)	33.6	41.0	17.8	4.9	2.7	100.0 (2,360)	25.8	35.8	26.5	9.1	2.8
いないので欲しい	100.0 (46)	47.8	23.9	21.7	6.5	-	100.0 (46)	23.9	37.0	26.1	13.0	-	100.0 (46)	17.4	30.4	26.1	26.1	-
必要ない	100.0 (38)	44.7	26.3	18.4	10.5	-	100.0 (38)	28.9	31.6	21.1	18.4	-	100.0 (38)	28.9	23.7	21.1	26.3	-

表Ⅲ-5-4 夫婦のコミュニケーション-相談相手の有無別（続き）

	旅行に出かける						帰宅時間や週の予定について話す						その日にあったことについて話し合う					
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答
総数	100.0 (4,766)	19.9	46.8	22.0	9.0	2.3	100.0 (4,766)	60.1	28.8	6.6	2.2	2.3	100.0 (4,766)	44.8	37.8	12.2	2.9	2.3
父	100.0 (2,301)	21.1	46.1	22.8	8.0	2.0	100.0 (2,301)	57.9	32.2	6.3	1.7	1.9	100.0 (2,301)	42.4	41.9	11.4	2.4	1.9
いる	100.0 (1,932)	22.4	47.1	21.9	6.8	1.8	100.0 (1,932)	61.4	30.6	5.2	1.0	1.7	100.0 (1,932)	45.4	41.3	10.0	1.7	1.7
いないので欲しい	100.0 (94)	8.5	40.4	38.3	11.7	1.1	100.0 (94)	44.7	39.4	8.5	6.4	1.1	100.0 (94)	25.5	52.1	16.0	5.3	1.1
必要ない	100.0 (252)	16.7	41.7	23.8	15.1	2.8	100.0 (252)	37.7	40.1	14.3	5.2	2.8	100.0 (252)	26.6	41.7	21.4	7.5	2.8
母	100.0 (2,465)	18.8	47.4	21.2	9.9	2.7	100.0 (2,465)	62.1	25.6	6.9	2.7	2.7	100.0 (2,465)	46.9	34.0	13.0	3.4	2.7
いる	100.0 (2,360)	19.0	48.1	20.6	9.6	2.8	100.0 (2,360)	63.2	25.3	6.4	2.3	2.8	100.0 (2,360)	47.6	34.3	12.5	2.8	2.8
いないので欲しい	100.0 (46)	8.7	34.8	43.5	13.0	-	100.0 (46)	34.8	39.1	17.4	8.7	-	100.0 (46)	28.3	26.1	28.3	17.4	-
必要ない	100.0 (38)	21.1	26.3	28.9	23.7	-	100.0 (38)	39.5	23.7	15.8	21.1	-	100.0 (38)	34.2	26.3	21.1	18.4	-

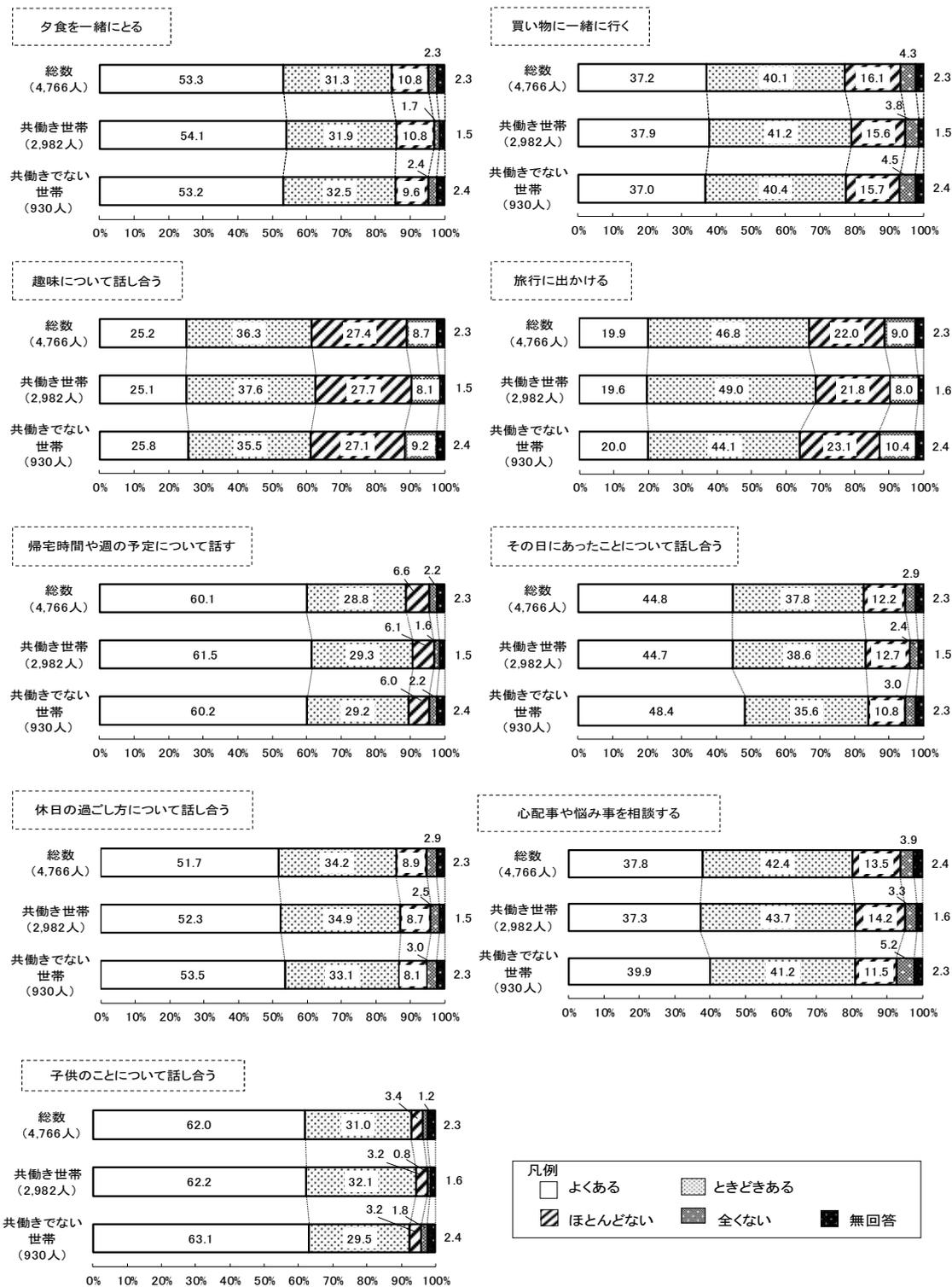
	休日の過ごし方について話し合う						心配事や悩み事を相談する						子供のことについて話し合う					
	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答	総数	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答
総数	100.0 (4,766)	51.7	34.2	8.9	2.9	2.3	100.0 (4,766)	37.8	42.4	13.5	3.9	2.4	100.0 (4,766)	62.0	31.0	3.4	1.2	2.3
父	100.0 (2,301)	51.7	36.1	8.2	2.1	2.0	100.0 (2,301)	33.4	45.5	15.4	3.7	2.0	100.0 (2,301)	60.0	33.8	3.1	1.1	2.0
いる	100.0 (1,932)	54.7	35.4	6.8	1.3	1.8	100.0 (1,932)	36.6	46.6	13.0	1.9	1.8	100.0 (1,932)	64.0	31.3	2.2	0.7	1.9
いないので欲しい	100.0 (94)	39.4	42.6	11.7	5.3	1.1	100.0 (94)	14.9	39.4	28.7	16.0	1.1	100.0 (94)	36.2	54.3	4.3	4.3	1.1
必要ない	100.0 (252)	34.9	36.9	17.9	7.1	3.2	100.0 (252)	16.7	38.5	28.2	13.9	2.8	100.0 (252)	38.5	45.2	9.9	3.6	2.8
母	100.0 (2,465)	51.6	32.5	9.5	3.7	2.7	100.0 (2,465)	41.9	39.4	11.8	4.1	2.8	100.0 (2,465)	63.9	28.4	3.7	1.3	2.7
いる	100.0 (2,360)	52.4	32.8	9.1	3.1	2.7	100.0 (2,360)	42.8	39.7	11.4	3.3	2.8	100.0 (2,360)	64.9	28.2	3.3	0.9	2.7
いないので欲しい	100.0 (46)	32.6	30.4	19.6	17.4	-	100.0 (46)	17.4	37.0	23.9	21.7	-	100.0 (46)	43.5	34.8	13.0	8.7	-
必要ない	100.0 (38)	28.9	26.3	21.1	23.7	-	100.0 (38)	23.7	26.3	21.1	28.9	-	100.0 (38)	36.8	28.9	21.1	13.2	-

(4) 夫婦のコミュニケーションー共働きの状況別

共働き世帯と、共働きでない世帯を比較して、特に差はみられない

夫婦のコミュニケーションを共働きの状況別にみると、共働き世帯と共働きでない世帯では、特に差はみられなかった。(図Ⅲ-5-3)

図Ⅲ-5-3 夫婦のコミュニケーションー共働きの状況別



### 3 夫婦の会話時間

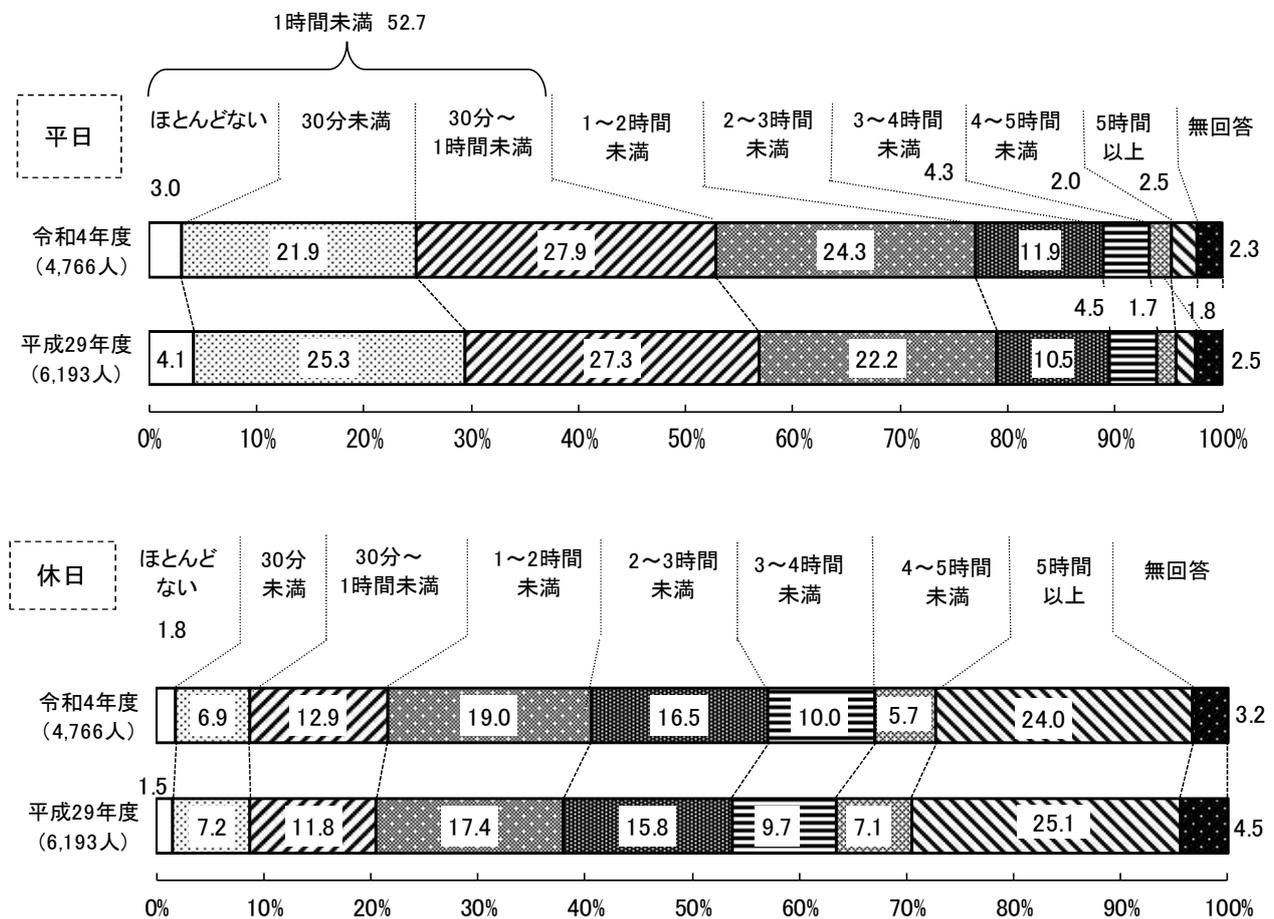
#### (1) 夫婦の会話時間－29年度調査との比較

休日は、会話時間が「5時間以上」の割合が2割超

配偶者のいる父母（4,766人）に、夫婦の会話時間を平日、休日別に聞いたところ、平日は、「30分～1時間未満」の割合が27.9%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が24.3%となっている。また、「ほとんどない」、「30分未満」、「30分～1時間未満」を合わせた「1時間未満」の割合は52.7%となっている。

休日は「5時間以上」の割合が24.0%で最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が19.0%となっている。（図Ⅲ-5-4）

図Ⅲ-5-4 夫婦の会話時間－29年度調査との比較



(2) 夫婦の会話時間（平日）－性・年齢階級別

父母ともに「1時間未満」の割合は「50歳以上」が最も高い

平日の夫婦の会話時間を性・年齢階級別にみると、父は、「29歳以下」の階級では「2～3時間未満」の割合が31.6%で最も高く、「30～34歳未満」は「1～2時間」の割合が29.0%で最も高く、「35～39歳」以上の階級では「30分～1時間未満」の割合が最も高くなっている（27.4%～30.2%）。一方母は、「35～39歳」以下の階級及び「50歳以上」では「30分～1時間未満」の割合が最も高く（25.0%～33.1%）、「40～44歳」及び「45～49歳」は、「30分未満」の割合が最も高くなっている（29.8%、30.3%）。

「ほとんどない」、「30分未満」、「30分～1時間未満」を合わせた「1時間未満」の割合は、父母ともに「50歳以上」で最も高くなっている（58.0%、62.5%）。（表Ⅲ-5-5）

表Ⅲ-5-5 夫婦の会話時間（平日）－性・年齢階級別

	総数	ほとんどない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5時間以上	無回答
総数	100.0 (4,766)	3.0	21.9	27.9	24.3	11.9	4.3	2.0	2.5	2.3
父	100.0 (2,301)	2.4	18.6	29.2	27.2	12.2	4.2	1.8	2.6	1.9
29歳以下	100.0 (38)	-	-	18.4	23.7	31.6	10.5	7.9	7.9	-
1時間未満				18.4						
30～34歳	100.0 (248)	0.8	11.3	28.2	29.0	16.5	5.2	1.6	6.0	1.2
1時間未満				40.3						
35～39歳	100.0 (518)	0.8	15.8	29.9	29.0	15.6	3.9	1.7	2.1	1.2
1時間未満				46.5						
40～44歳	100.0 (655)	2.7	19.8	30.2	27.6	10.5	3.2	1.5	2.1	2.1
1時間未満				52.8						
45～49歳	100.0 (525)	3.2	20.0	29.3	27.4	9.5	4.2	1.5	1.9	2.9
1時間未満				52.6						
50歳以上	100.0 (317)	4.4	26.2	27.4	22.4	8.5	5.0	2.5	1.9	1.6
1時間未満				58.0						
母	100.0 (2,465)	3.5	24.9	26.7	21.5	11.6	4.5	2.2	2.4	2.7
29歳以下	100.0 (80)	-	7.5	25.0	22.5	17.5	15.0	6.3	3.8	2.5
1時間未満				32.5						
30～34歳	100.0 (347)	1.2	15.9	26.5	25.4	16.7	5.8	2.9	3.7	2.0
1時間未満				43.5						
35～39歳	100.0 (677)	3.0	22.6	29.8	22.3	10.8	4.7	2.2	2.7	1.9
1時間未満				55.4						
40～44歳	100.0 (724)	4.6	29.8	23.8	19.8	11.3	3.9	1.9	1.8	3.2
1時間未満				58.1						
45～49歳	100.0 (501)	4.6	30.3	25.3	21.2	8.8	3.6	1.4	1.4	3.4
1時間未満				60.3						
50歳以上	100.0 (136)	5.1	24.3	33.1	16.9	11.0	0.7	2.2	2.9	3.7
1時間未満				62.5						

(3) 夫婦の会話時間（休日）－性・年齢階級別

父は「35～39歳」以下の階級、母は「40～44歳」以下の各階級において「5時間以上」の割合が最も高い

休日の夫婦の会話時間を性・年齢階級別にみると、父は「35～39歳」以下の各階級、母は「40～44歳」以下の各階級において、「5時間以上」の割合が最も高くなっている（28.6%～65.8%、20.6%～48.8%）。（表Ⅲ-5-6）

表Ⅲ-5-6 夫婦の会話時間（休日）－性・年齢階級別

	総数	ほとんどない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5時間以上	無回答
総数	100.0 (4,766)	1.8	6.9	12.9	19.0	16.5	10.0	5.7	24.0	3.2
父	100.0 (2,301)	1.3	5.8	12.3	20.4	18.1	10.2	5.6	23.3	3.0
29歳以下	100.0 (38)	2.6	-	-	7.9	5.3	7.9	5.3	<u>65.8</u>	5.3
30～34歳	100.0 (248)	0.4	2.4	6.0	12.1	16.9	11.3	10.5	<u>38.3</u>	2.0
35～39歳	100.0 (518)	0.2	3.7	9.7	18.1	17.8	12.2	6.9	<u>28.6</u>	2.9
40～44歳	100.0 (655)	1.4	5.6	13.6	23.4	20.0	9.9	3.4	20.2	2.6
45～49歳	100.0 (525)	1.5	7.0	14.1	23.8	19.8	9.3	3.8	16.2	4.4
50歳以上	100.0 (317)	2.8	11.0	17.0	20.5	14.5	8.2	7.6	15.8	2.5
母	100.0 (2,465)	2.3	7.8	13.5	17.6	15.1	9.9	5.7	24.7	3.4
29歳以下	100.0 (80)	1.3	1.3	2.5	7.5	12.5	11.3	8.8	<u>48.8</u>	6.3
30～34歳	100.0 (347)	0.9	2.0	7.2	14.1	18.4	9.8	6.1	<u>38.9</u>	2.6
35～39歳	100.0 (677)	1.8	6.5	10.6	17.3	16.4	9.6	6.5	<u>28.8</u>	2.5
40～44歳	100.0 (724)	3.3	10.1	15.1	16.7	14.0	11.6	5.2	<u>20.6</u>	3.5
45～49歳	100.0 (501)	2.0	11.2	18.2	22.8	13.2	8.2	4.6	15.6	4.4
50歳以上	100.0 (136)	5.1	8.8	24.3	20.6	14.0	8.1	5.9	8.8	4.4

## 第6章 夫婦の家事・育児分担

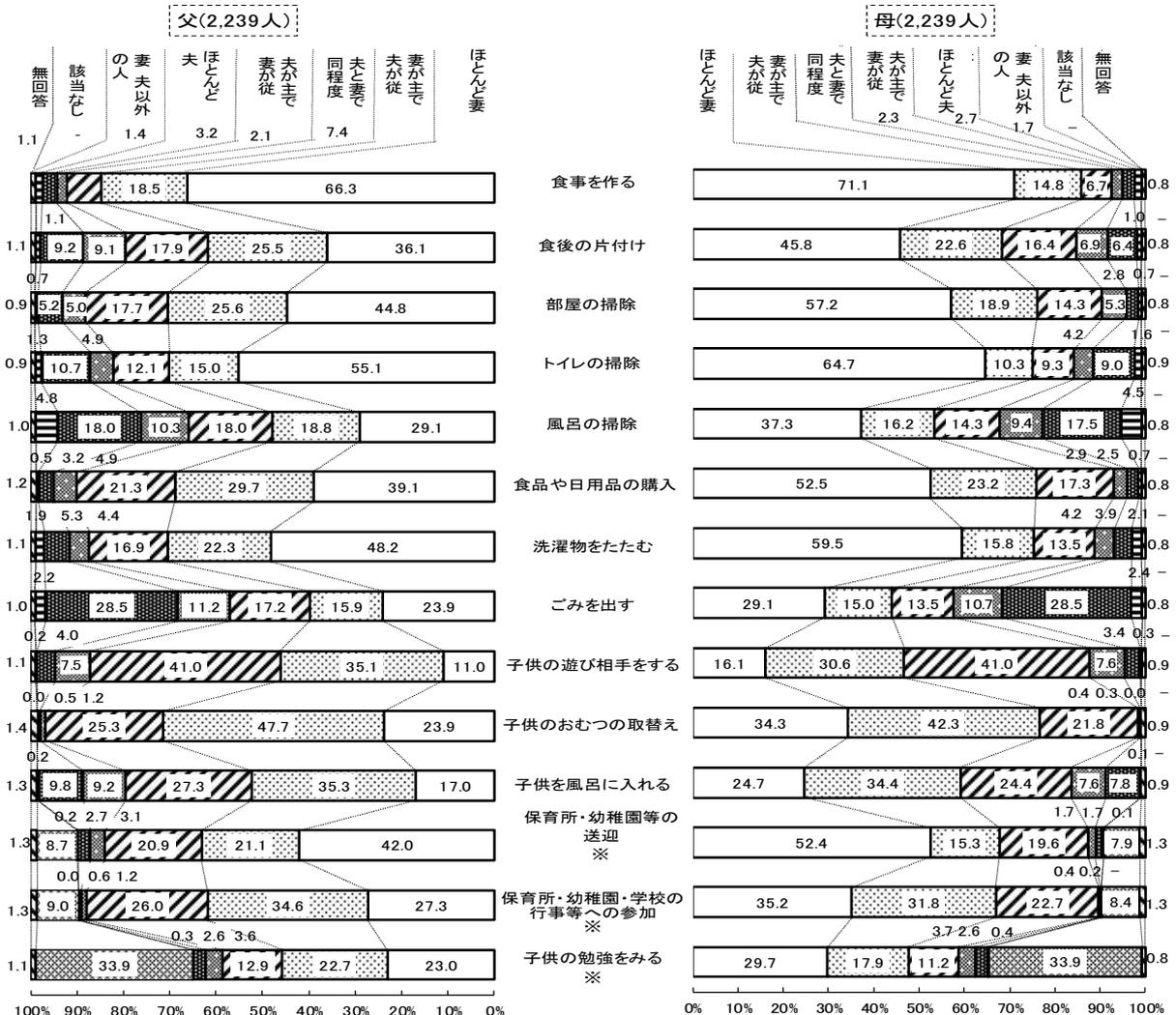
### 1 夫婦の家事・育児分担（項目別）

#### (1) 夫婦の家事・育児分担（項目別）

家事・育児の全ての項目で、「ほとんど妻」の割合は、父よりも母の方が高い

配偶者のいる父母（4,478人）に、家事・育児について、主として誰が行っているか聞いたところ、全ての項目で、「ほとんど妻」の割合は、父よりも母の方が高くなっている。「食事を作る」については、「ほとんど妻」の割合が、父は66.3%、母は71.1%となっている。「ゴミを出す」については、「ほとんど夫」の割合が父母ともに約3割（父28.5%、母28.5%）となっている。（図Ⅲ-6-1）

図Ⅲ-6-1 夫婦の家事・育児分担（項目別）



(注) 両親世帯のうち、調査票②（子育てに関する養育者の意識）について夫婦ともに回答のあった2,239世帯の父母について集計した。

(注) ※は、「該当なし」の選択肢を設けて調査を実施している。「該当なし」の回答分については、上記グラフでは「無回答」分とまとめて集計している。

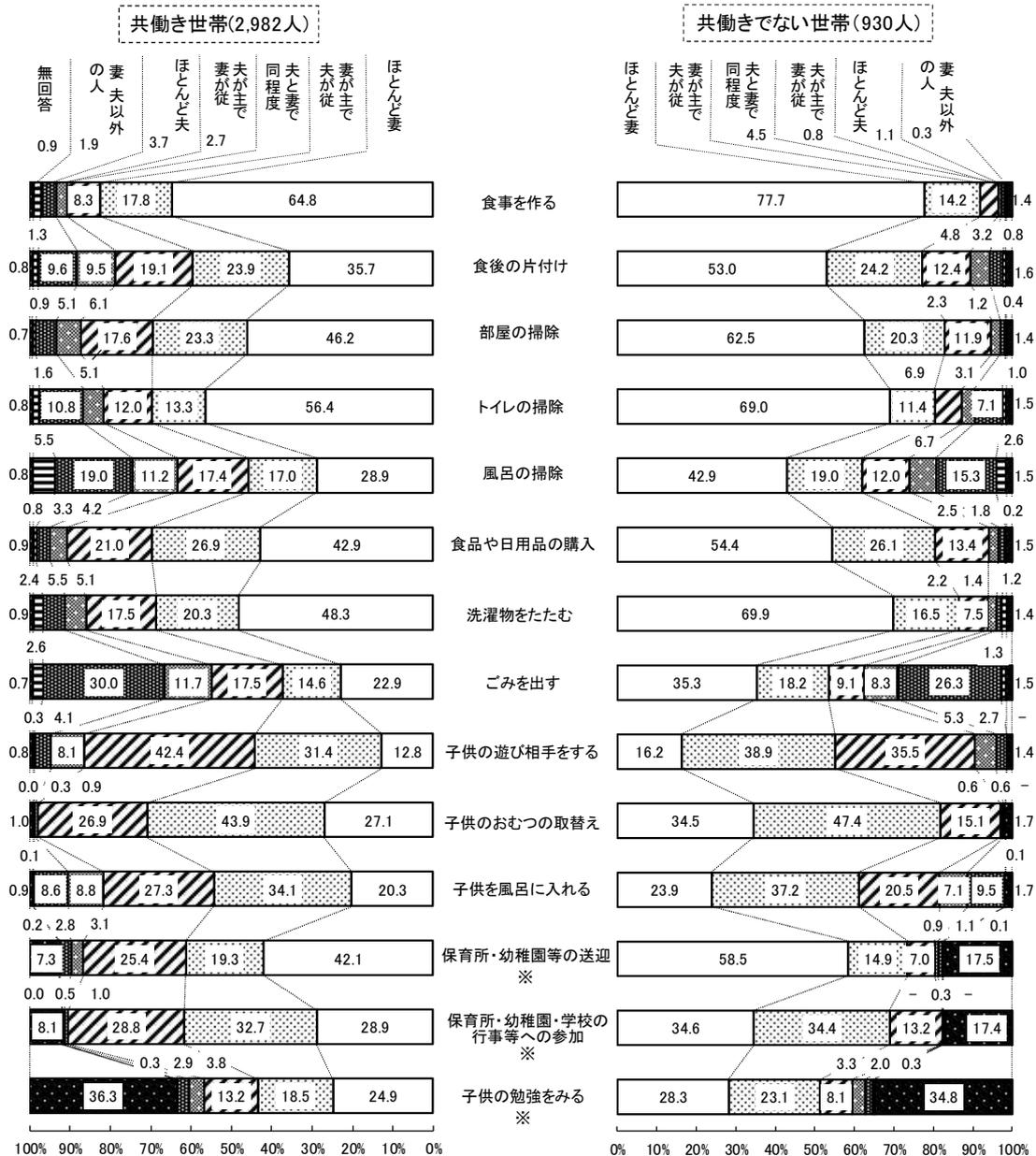
(2) 夫婦の家事・育児分担（項目別）－共働きの状況別

「ほとんど妻」の割合は、全ての項目で、共働き世帯の方が共働きでない世帯よりも低い

夫婦の家事・育児分担（項目別）を共働きの状況別にみると、「ほとんど妻」の割合は、全ての項目で、共働き世帯の方が共働きでない世帯よりも低くなっている。

また、共働き世帯における「ほとんど妻」の割合は、共働きでない世帯に比べて「洗濯物をたたむ」が21.6ポイント、「食後の片付け」が17.3ポイント、「部屋の掃除」が16.3ポイント低くなっている。（図Ⅲ-6-2）

図Ⅲ-6-2 夫婦の家事・育児分担（項目別）－共働きの状況別



(注) 両親世帯のうち、調査票②（子育てに関する養育者の意識）について夫婦ともに回答のあった2,239世帯から、共働きか否かが不明な283世帯を除く1,956世帯の父母3,912人について集計した。

(注) ※は、「該当なし」の選択肢を設けて調査を実施している。「該当なし」の回答分については、上記グラフでは「無回答」分とまとめて集計している。

## 2 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）

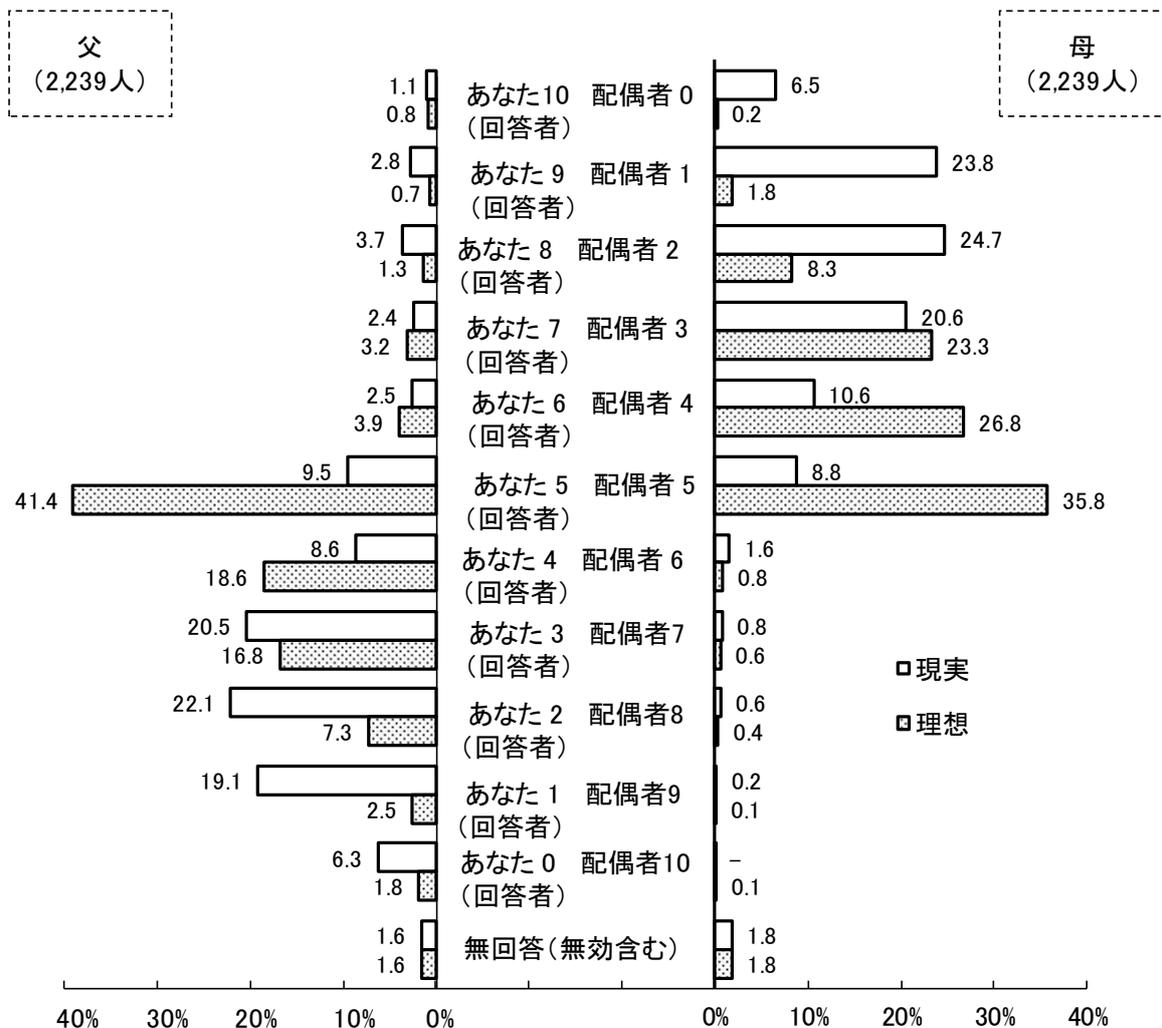
### (1) 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）

現実には父母ともに、「父 2 : 母 8」の割合が最も高く、理想は父母ともに「父 5 : 母 5」の割合が最も高い

配偶者のいる父母（4,478人）に、家事・育児の分担割合が、あなた（回答者）と配偶者の間で実際にどうなっているかを聞いたところ、父は「あなた（回答者）2 : 配偶者 8」の割合が22.1%で最も高く、次いで「あなた（回答者）3、配偶者 7」が20.5%となっている。母は「あなた（回答者）8 : 配偶者 2」の割合が24.7%で最も高く、次いで「あなた（回答者）9 : 配偶者 1」が23.8%となっている。

さらに、本当はどれぐらいの分担割合にしたいと思うかという理想を聞いたところ、父母ともに「あなた（回答者）5、配偶者 5」が最も高く、父が41.4%、母が35.8%となっている。  
（図Ⅲ-6-3）

図Ⅲ-6-3 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）



(2) 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）－共働きの状況別

現実には、共働き世帯の父は「父3：母7」、母は「父2：母8」の割合が最も高く、理想は、共働き世帯の父母ともに、「父5：母5」の割合が最も高い

夫婦の家事・育児分担の現実と理想の割合を共働きの状況別にみると、現実の家事・育児分担の割合は、共働き世帯の父は「父3：母7」の割合が22.1%で最も高く、母は「父2：母8」が24.9%で最も高くなっている。共働きでない世帯においては、父母ともに「父1：母9」の割合が最も高くなっている（父25.8%、母33.8%）。

一方、理想の家事・育児分担の割合は、共働き世帯は父母ともに「父5：母5」の割合が最も高く、父は46.7%、母は41.9%となっている。共働きでない世帯においては、父は「父5：母5」の割合が27.3%で最も高く、母は「父3：母7」が35.9%で最も高くなっている。（表Ⅲ-6-1）

表Ⅲ-6-1 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）－共働きの状況別

現実	総数	あなた0	あなた1	あなた2	あなた3	あなた4	あなた5	あなた6	あなた7	あなた8	あなた9	あなた10	無回答
		(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	
父	100.0 (2,239)	1.1	2.8	3.7	2.4	2.5	9.5	8.6	20.5	22.1	19.1	6.3	1.6
共働き世帯	100.0 (1,491)	0.9	2.5	3.4	3.1	2.8	11.0	9.9	<u>22.1</u>	21.7	16.2	4.8	1.6
共働きでない世帯	100.0 (465)	1.7	3.4	4.9	1.3	0.9	4.9	4.9	17.0	23.0	<u>25.8</u>	10.1	1.9
母	100.0 (2,239)	6.5	23.8	24.7	20.6	10.6	8.8	1.6	0.8	0.6	0.2	0.0	1.8
共働き世帯	100.0 (1,491)	5.2	20.5	<u>24.9</u>	21.4	12.1	10.5	1.9	0.9	0.6	0.2	-	1.9
共働きでない世帯	100.0 (465)	9.5	<u>33.8</u>	22.8	19.1	6.0	4.5	0.4	0.2	0.9	0.2	0.2	2.4
理想	総数	あなた0	あなた1	あなた2	あなた3	あなた4	あなた5	あなた6	あなた7	あなた8	あなた9	あなた10	無回答
		(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	(回答者)	
父	100.0 (2,239)	0.8	0.7	1.3	3.2	3.9	41.4	18.6	16.8	7.3	2.5	1.8	1.6
共働き世帯	100.0 (1,491)	0.9	0.5	1.0	3.3	4.1	<u>46.7</u>	18.7	14.3	5.2	2.2	1.5	1.6
共働きでない世帯	100.0 (465)	0.6	1.3	2.6	2.8	2.6	<u>27.3</u>	17.8	24.5	12.7	3.2	2.6	1.9
母	100.0 (2,239)	0.2	1.8	8.3	23.3	26.8	35.8	0.8	0.6	0.4	0.1	0.1	1.8
共働き世帯	100.0 (1,491)	0.3	0.6	5.9	19.0	28.6	<u>41.9</u>	0.9	0.4	0.4	-	0.1	1.9
共働きでない世帯	100.0 (465)	-	4.5	14.8	<u>35.9</u>	21.9	17.6	1.1	0.9	0.2	0.4	0.2	2.4

(3) 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）

—子育てをされていて日ごろ感じること（配偶者が子育てに協力してくれないと思う）別

現実の家事・育児分担が「父0：母10」の割合では、「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」ことが「よくある」母が約4割

夫婦の家事・育児分担の現実と理想の割合を、子育てをされていて日ごろ感じること（配偶者が子育てに協力してくれないと思う）別にみると、現実の家事・育児分担が「父0：母10」の割合では、「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」ことが「よくある」母では39.2%、「全くない」母は1.2%となっており、「父5：母5」の割合は、「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」ことが「よくある」母では1.8%、「全くない」母は16.3%となっている。

理想の家事・育児分担の割合は、父母ともに、「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」頻度にかかわらず、「父5：母5」の割合が最も高くなっている（父：40.9%～63.2%、母：33.3%～37.5%）。（表Ⅲ-6-2）

表Ⅲ-6-2 夫婦の家事・育児分担の割合（現実と理想）

ー子育てをされていて日ごろ感じること（配偶者が子育てに協力してくれないと思う）別

現実		総数	あなた（回答者） 0	あなた（回答者） 1	あなた（回答者） 2	あなた（回答者） 3	あなた（回答者） 4	あなた（回答者） 5	あなた（回答者） 6	あなた（回答者） 7	あなた（回答者） 8	あなた（回答者） 9	あなた（回答者） 10	無回答
父		100.0 (2,239)	1.1	2.8	3.7	2.4	2.5	9.5	8.6	20.5	22.1	19.1	6.3	1.6
	よくある	100.0 (19)	5.3	5.3	10.5	5.3	-	10.5	5.3	15.8	15.8	21.1	5.3	-
	ときどきある	100.0 (46)	2.2	6.5	10.9	10.9	6.5	17.4	6.5	4.3	8.7	13.0	8.7	4.3
	ほとんどない	100.0 (304)	2.0	1.6	3.3	2.6	7.9	12.5	10.2	22.0	17.4	12.5	5.6	2.3
	全くない	100.0 (1,839)	0.9	2.8	3.5	2.1	1.6	8.8	8.4	20.6	23.5	20.3	6.4	1.1
母		100.0 (2,239)	6.5	23.8	24.7	20.6	10.6	8.8	1.6	0.8	0.6	0.2	0.0	1.8
	よくある	100.0 (166)	<u>39.2</u>	41.6	10.8	3.6	1.2	<u>1.8</u>	-	0.6	-	-	-	1.2
	ときどきある	100.0 (564)	9.8	40.6	29.1	13.1	2.1	2.0	-	0.2	0.4	0.4	-	2.5
	ほとんどない	100.0 (653)	2.5	22.1	28.9	25.4	11.0	6.6	0.8	0.5	0.3	-	-	2.0
	全くない	100.0 (839)	<u>1.2</u>	10.6	21.1	25.4	17.9	<u>16.3</u>	3.6	1.4	1.2	0.2	0.1	1.0

理想		総数	あなた（回答者） 0	あなた（回答者） 1	あなた（回答者） 2	あなた（回答者） 3	あなた（回答者） 4	あなた（回答者） 5	あなた（回答者） 6	あなた（回答者） 7	あなた（回答者） 8	あなた（回答者） 9	あなた（回答者） 10	無回答
父		100.0 (2,239)	0.8	0.7	1.3	3.2	3.9	41.4	18.6	16.8	7.3	2.5	1.8	1.6
	よくある	100.0 (19)	-	-	10.5	-	5.3	<u>63.2</u>	15.8	-	5.3	-	-	-
	ときどきある	100.0 (46)	6.5	-	2.2	4.3	2.2	<u>54.3</u>	2.2	6.5	6.5	4.3	6.5	4.3
	ほとんどない	100.0 (304)	0.7	1.3	1.6	2.3	2.6	<u>41.4</u>	16.4	15.8	8.6	3.6	3.3	2.3
	全くない	100.0 (1,839)	0.8	0.7	1.0	3.4	4.1	<u>40.9</u>	19.4	17.6	7.2	2.3	1.5	1.1
母		100.0 (2,239)	0.2	1.8	8.3	23.3	26.8	35.8	0.8	0.6	0.4	0.1	0.1	1.8
	よくある	100.0 (166)	1.8	2.4	7.8	30.7	18.7	<u>36.7</u>	-	-	-	0.6	-	1.2
	ときどきある	100.0 (564)	0.2	1.1	8.3	26.8	26.4	<u>33.3</u>	0.5	0.2	0.4	0.2	0.2	2.5
	ほとんどない	100.0 (653)	-	2.0	7.0	21.3	30.9	<u>35.2</u>	0.6	0.8	-	-	0.2	2.0
	全くない	100.0 (839)	0.1	2.0	9.1	21.5	25.7	<u>37.5</u>	1.4	0.8	0.7	-	0.1	1.0

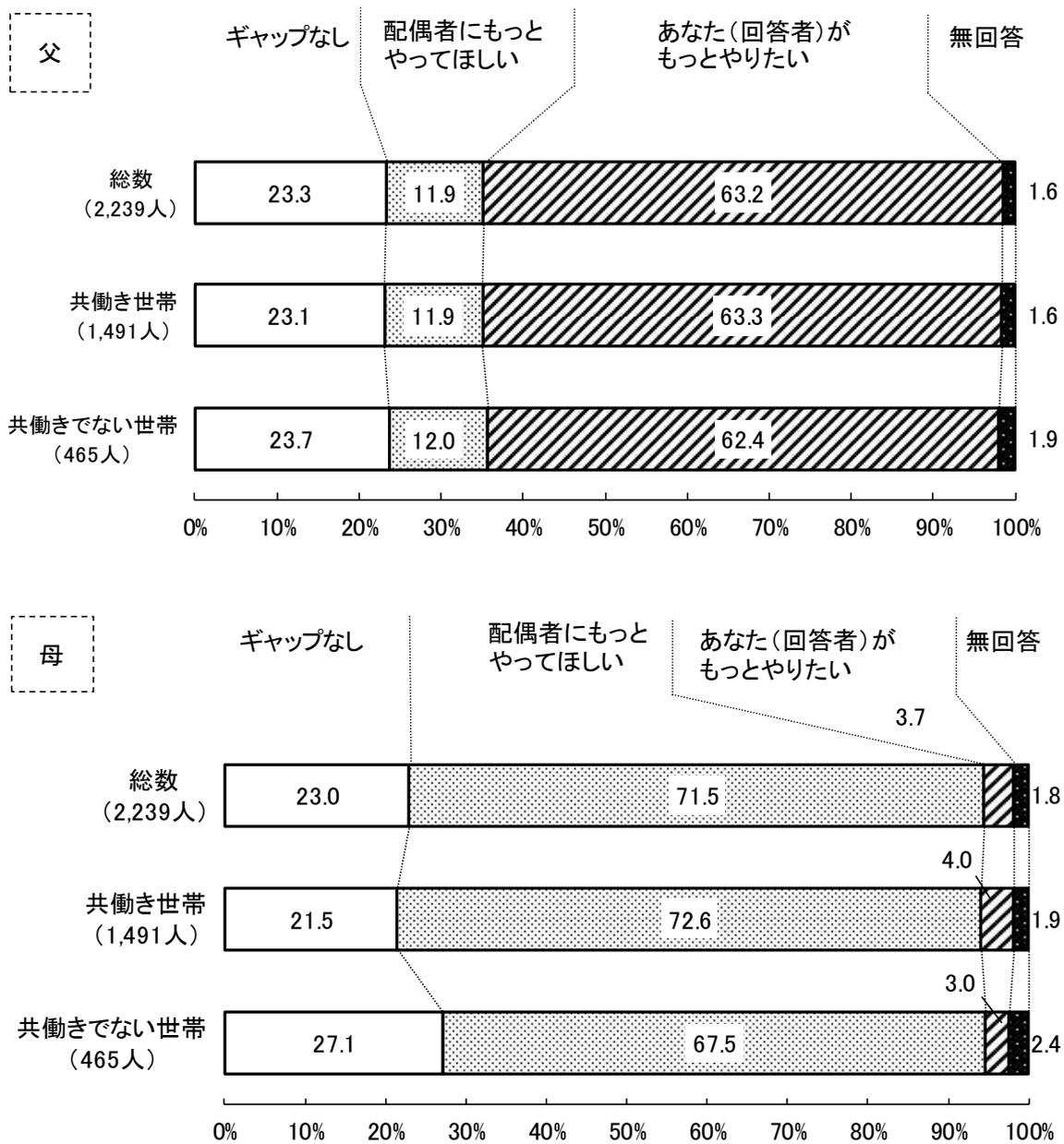
### 3 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無

#### (1) 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無－共働きの状況別

父の「あなた（回答者）がもっとやりたい」の割合は、共働きでない世帯より、共働きの世帯の方が高い

夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無を共働きの状況別にみると、父の「ギャップなし」の割合は、共働き世帯が 23.1%、共働きでない世帯が 23.7%で、ほぼ同じ割合となっている。母の「ギャップなし」の割合は、共働きでない世帯が 27.1%で、共働き世帯（21.5%）に比べて 5.6 ポイント高くなっている。（図Ⅲ-6-4）

図Ⅲ-6-4 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無－共働きの状況別



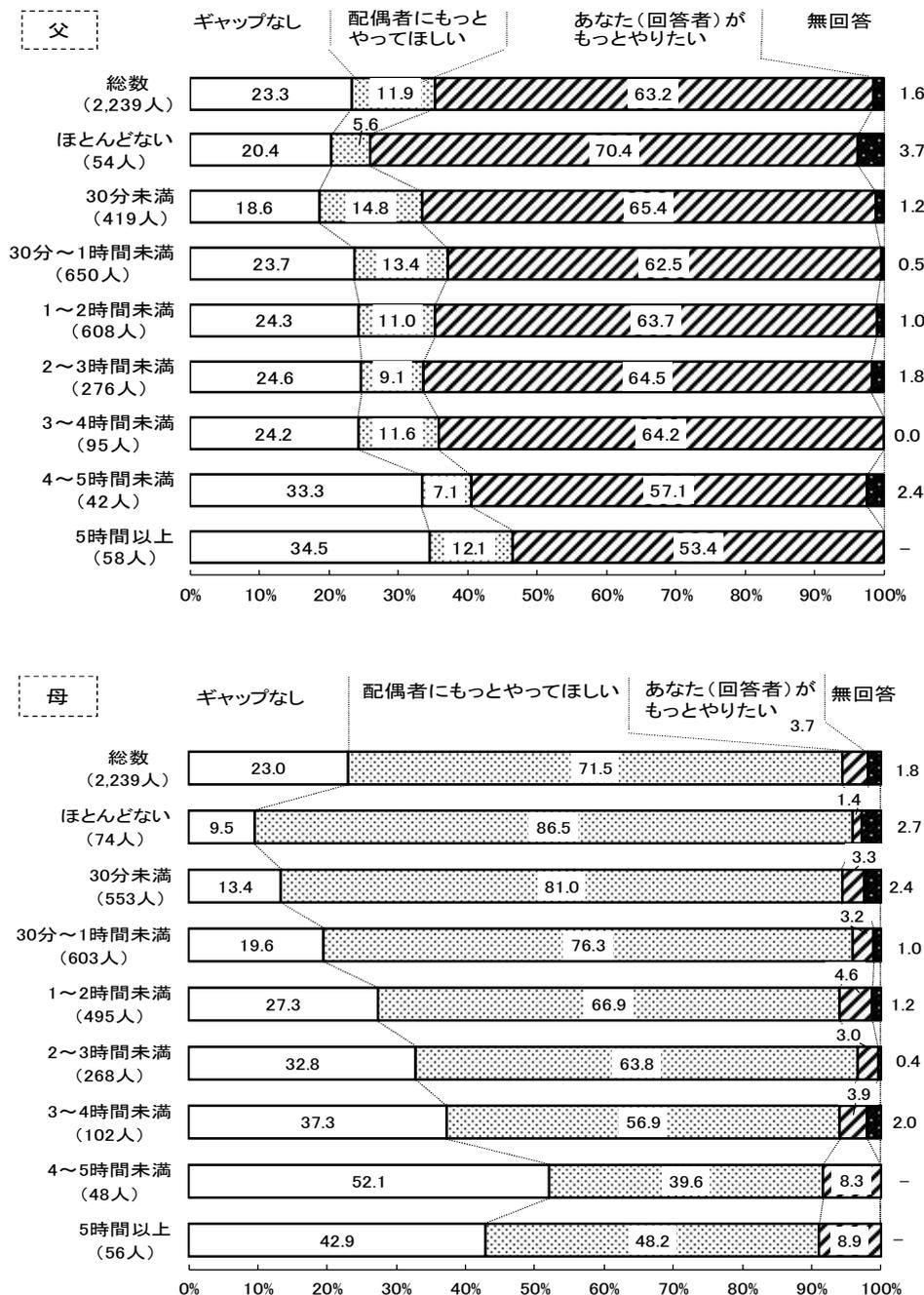
(2) 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無

－夫婦の1日の会話時間（平日）別

母の「ギャップなし」の割合は、夫婦の1日の会話時間が「ほとんどない」では約1割

夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無を夫婦の1日の会話時間（平日）別にみると、母は、平日の会話時間が「ほとんどない」人は「ギャップなし」の割合が9.5%で最も低く、平日の会話時間が多い階層になるにつれて「ギャップなし」の割合が増加している（13.4%～52.1%）。（図Ⅲ-6-5）

図Ⅲ-6-5 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無  
－夫婦の1日の会話時間（平日）別



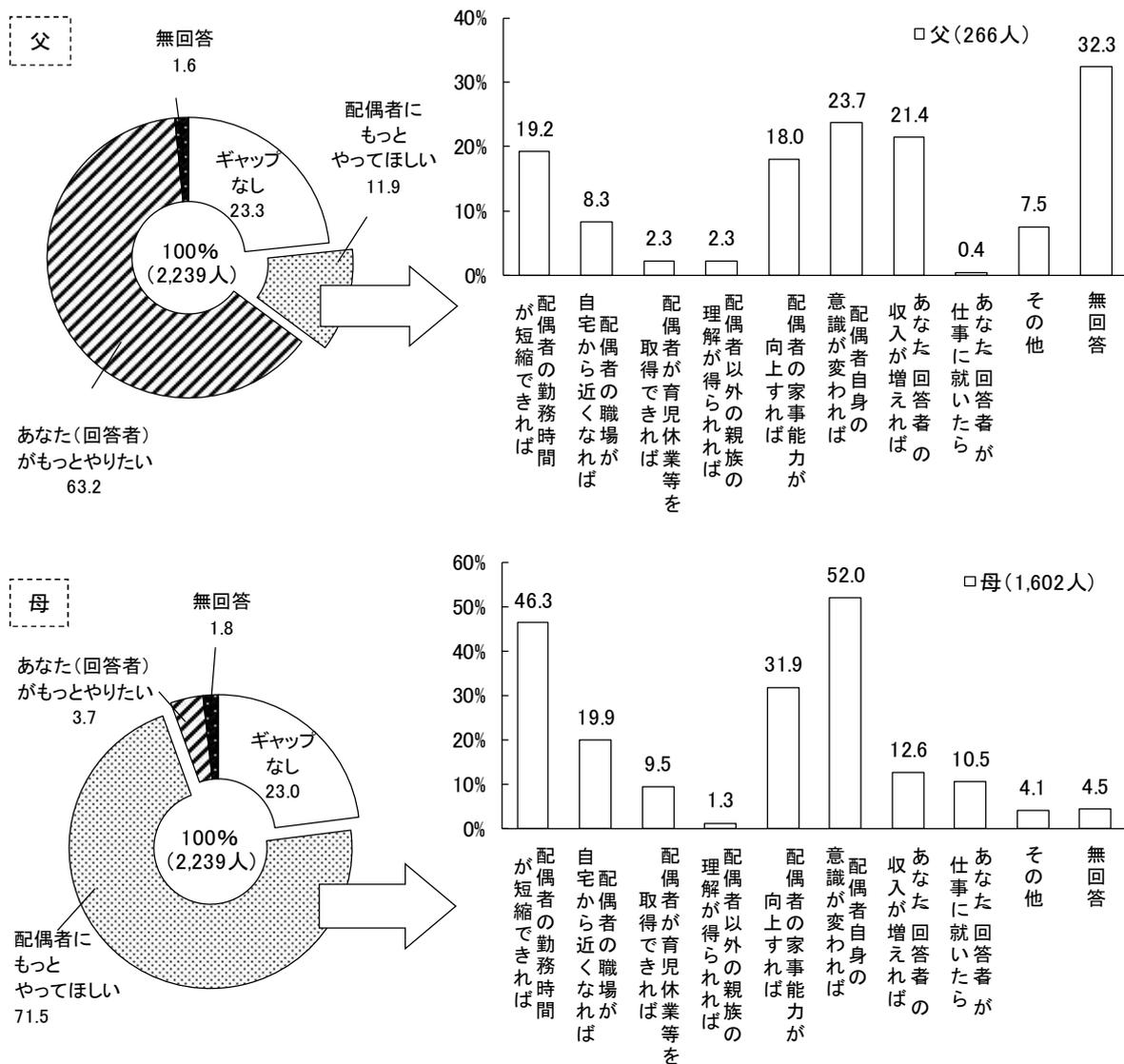
(3) 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無及び配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件〔複数回答〕

「配偶者にもっとやってほしい」の割合は、父は約1割、母は約7割

配偶者のいる父母(4,478人)の家事・育児分担についての現実と理想のギャップをみると、「配偶者にもっとやってほしい」の割合は、父が11.9%、母が71.5%となっている。

また、「配偶者にもっとやってほしい」と回答した父母(父266人、母1,602人)に、配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件を聞いたところ、父母とも「配偶者自身の意識が変われば」の割合が最も高くなっている(父23.7%、母52.0%)。次いで、父は「あなた(回答者)の収入が増えれば」の割合が21.4%、母は「配偶者の勤務時間が短縮できれば」の割合が46.3%となっている。(図Ⅲ-6-6)

図Ⅲ-6-6 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無及び配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件〔複数回答〕



(4) 配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件〔複数回答〕－共働きの状況別

共働き世帯の母、共働きでない世帯の母とも「配偶者自身の意識が変われば」の割合が最も高い

配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件を共働きの状況別にみると、共働き世帯の父は、「配偶者自身の意識が変われば」の割合が22.5%で最も高く、共働きでない世帯の父は、「あなた（回答者）の収入が増えれば」の割合が19.6%で最も高くなっている。

一方、母については、共働き世帯の母、共働きでない世帯の母とも、「配偶者自身の意識が変われば」の割合が最も高く（51.3%、54.1%）、次いで「配偶者の勤務時間が短縮できれば」の割合が高くなっている。（48.3%、41.1%）（表Ⅲ-6-3）

表Ⅲ-6-3 配偶者にもっと家事・育児をやってもらうための条件〔複数回答〕  
－共働きの状況別

	総数	配偶者 の勤務 時間が 短縮 でき れば	配 偶 者 の 職 場 が 自 宅 か ら 近 く な れ ば	配 偶 者 が 育 児 休 業 等 を 取 得 で き れ ば	配 偶 者 が 以 外 の 親 族 の 理 解 が 得 ら れ ば	配 偶 者 の 家 事 能 力 が 向 上 す れ ば	配 偶 者 自 身 の 意 識 が 変 わ れ ば	あ な た （ 回 答 者 ） の 収 入 が 増 え れ ば	あ な た （ 回 答 者 ） が 仕 事 に 就 い た ら	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (266)	19.2	8.3	2.3	2.3	17.7	23.7	21.4	0.4	7.5	32.3
共働き世帯	100.0 (178)	21.3	9.0	2.8	1.7	18.0	<u>22.5</u>	22.5	-	6.7	32.0
共働きでない世帯	100.0 (56)	16.1	7.1	1.8	3.6	17.9	17.9	<u>19.6</u>	1.8	12.5	32.1
母	100.0 (1,602)	46.3	19.9	9.5	1.3	31.9	52.0	12.6	10.5	4.1	4.5
共働き世帯	100.0 (1,082)	<u>48.3</u>	20.4	10.0	1.1	30.6	<u>51.3</u>	13.9	4.0	4.5	4.9
共働きでない世帯	100.0 (314)	<u>41.4</u>	20.7	9.9	1.9	33.8	<u>54.1</u>	7.6	30.9	3.5	4.1

(5) 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無及び自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕

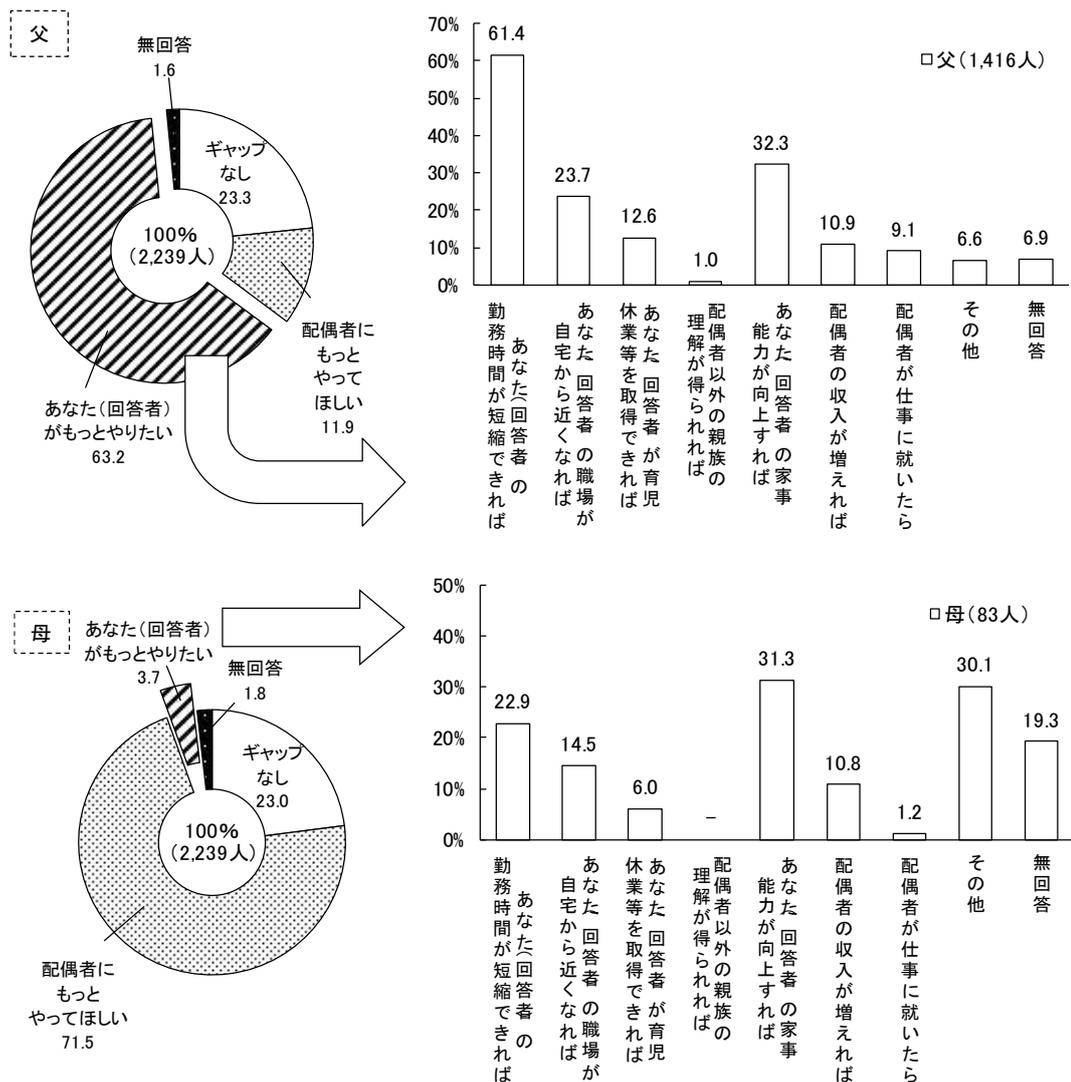
「あなた（回答者）がもっとやりたい」の割合は、父が6割超

配偶者のいる父母（4,478人）の家事・育児分担についての現実と理想のギャップをみると、「あなた（回答者）がもっとやりたい」の割合は、父が63.2%、母が3.7%となっている。

「あなた（回答者）がもっとやりたい」と回答した父母（父1,416人、母83人）に、自分がもっと家事・育児をやるための条件を聞いたところ、父は「あなた（回答者）の勤務時間が短縮できれば」の割合が61.4%で最も高く、次いで「あなた（回答者）の家事能力が向上すれば」が32.3%となっている。母は「あなた（回答者）の家事能力が向上すれば」の割合が31.3%で最も高く、次いで「あなた（回答者）の勤務時間が短縮できれば」が22.9%となっている。

（図Ⅲ-6-7）

図Ⅲ-6-7 夫婦の家事・育児分担についての現実と理想のギャップの有無及び自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕



(6) 自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕－父母の1日あたりの実労働時間別

父は「7～8時間未満」以上の階級では、「あなた（回答者）の勤務時間が短縮できれば」の割合が最も高い

自分がもっと家事・育児をやるための条件を父母の1日あたりの実労働時間別にみると、父は実労働時間が「6時間未満」、「6～7時間未満」では、「あなた（回答者）の家事能力が向上すれば」の割合が最も高く（父60.0%、41.7%、母38.5%、40.0%）、「7～8時間未満」から「9～10時間未満」では「あなた（回答者）の勤務時間が短縮できれば」の割合が最も高くなっている（父45.0%～69.2%、母25.0%～62.5%）。（表Ⅲ-6-4）

表Ⅲ-6-4 自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕  
－父母の1日あたりの実労働時間別

	総数	あなた（回答者）の勤務時間が短縮できれば	自宅から近くなればあなたの職場が	あなた（回答者）が育児休業等を取れば	得られれば	配偶者以外の親族の理解が	家事能力が向上すれば	配偶者の収入が増えれば	配偶者が仕事に就いたら	その他	無回答
総数	100.0 (1,499)	59.2	23.2	12.3	0.9	32.2	10.9	8.7	7.9	7.5	
父	100.0 (1,416)	61.4	23.7	12.6	1.0	32.3	10.9	9.1	6.6	6.9	
働いている	100.0 (1,306)	61.8	23.8	12.6	0.9	32.2	10.9	9.2	6.4	6.9	
6時間未満	100.0 (10)	20.0	10.0	20.0	10.0	<u>60.0</u>	-	20.0	-	10.0	
6～7時間未満	100.0 (12)	25.0	8.3	16.7	-	<u>41.7</u>	25.0	8.3	-	8.3	
7～8時間未満	100.0 (171)	<u>45.0</u>	22.8	9.9	0.6	35.1	11.1	9.9	12.3	9.4	
8～9時間未満	100.0 (412)	<u>51.9</u>	25.0	11.7	0.7	35.7	10.4	11.2	7.0	8.7	
9～10時間未満	100.0 (312)	<u>69.2</u>	27.9	13.1	-	32.7	14.4	10.3	4.5	3.5	
10時間以上	100.0 (341)	78.0	21.4	14.7	1.2	25.5	8.5	6.2	4.7	5.9	
働いていない	100.0 (10)	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-	30.0	-	
母	100.0 (83)	22.9	14.5	6.0	-	31.3	10.8	1.2	30.1	19.3	
働いている	100.0 (59)	30.5	20.3	8.5	-	27.1	11.9	1.7	27.1	15.3	
6時間未満	100.0 (13)	-	-	7.7	-	<u>38.5</u>	7.7	-	53.8	7.7	
6～7時間未満	100.0 (10)	30.0	30.0	30.0	-	<u>40.0</u>	20.0	-	20.0	20.0	
7～8時間未満	100.0 (12)	<u>25.0</u>	16.7	8.3	-	<u>25.0</u>	8.3	-	16.7	41.7	
8～9時間未満	100.0 (14)	<u>50.0</u>	28.6	-	-	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	
9～10時間未満	100.0 (8)	<u>62.5</u>	37.5	-	-	-	25.0	-	12.5	-	
10時間以上	100.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
働いていない	100.0 (22)	4.5	-	-	-	45.5	9.1	-	40.9	22.7	

## 第7章 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うか

### 1 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うか

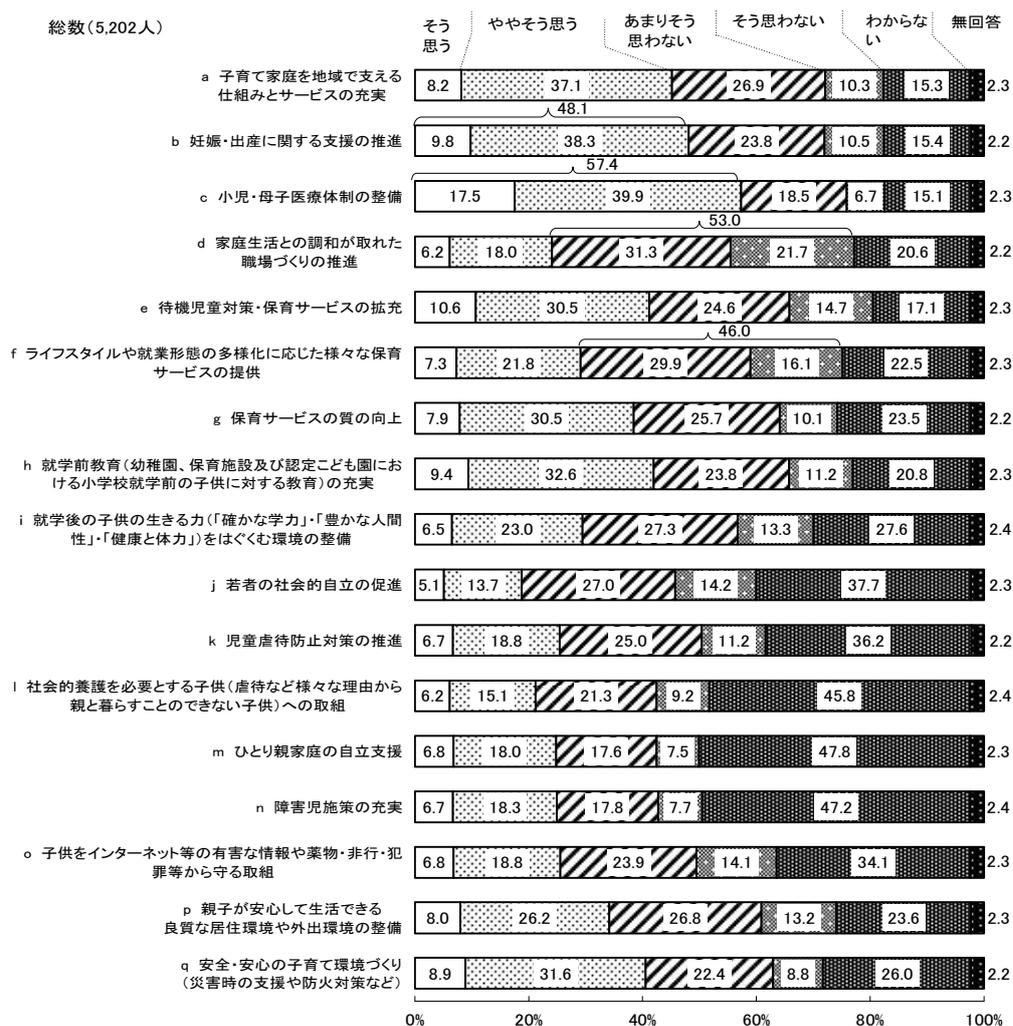
#### (1) 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うか

「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合は、「小児・母子医療体制の整備」が最も高く5割超、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、「家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進」の割合が最も高く5割超

東京都が取り組んでいる子供・子育て支援施策について、充実していると思うか聞いたところ、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合は、「小児・母子医療体制の整備」が57.4%で最も高く、次いで「妊娠・出産に関する支援の推進」が48.1%となっている。

また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、「家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進」の割合が53.0%で最も高く、次いで「ライフスタイルや就業形態の多様化に応じた様々な保育サービスの提供」が46.0%となっている。(図Ⅲ-7-1)

図Ⅲ-7-1 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うか



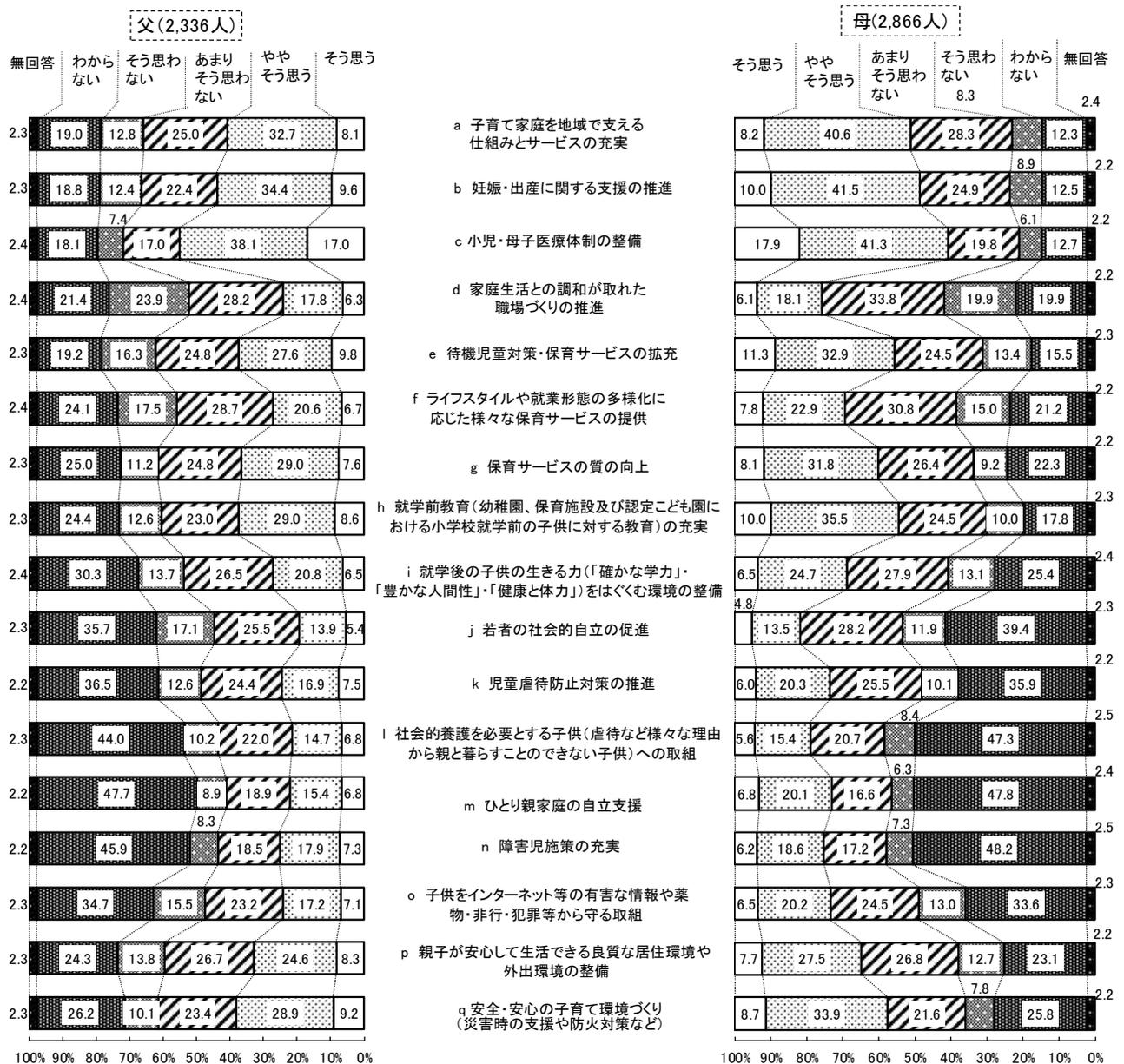
(2) 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うかー父母別

「そう思う」の割合は、父母ともに「小児・母子医療体制の整備」が最も高い

東京都が取り組んでいる子供・子育て支援施策について、充実していると思うかを父母別にみると、「そう思う」の割合は、父母ともに「小児・母子医療体制の整備」が最も高く（父 17.0%、母 17.9%）、次いで、父母ともに「待機児童対策・保育サービスの拡充」が高くなっている（父 9.8%、母 11.3%）。

一方、「そう思わない」の割合は、父母ともに「家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進」が最も高く（父 23.9%、母 19.9%）、次いで、父母ともに「ライフスタイルや就業形態の多様化に応じた様々な保育サービスの提供」（父 17.5%、母 15.0%）となっている。（図Ⅲ-7-2）

図Ⅲ-7-2 東京都の子供・子育て支援の施策が充実していると思うかー父母別



※a から q までの施策ごとの主な取り組みについては、次ページを参照。

◆施策の主な取組内容◆

a	<p><b>子育て家庭を地域で支える仕組みとサービスの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子供家庭支援センターや子育てひろばでの相談支援</li> <li>*一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど子育て支援サービスの充実</li> </ul>
b	<p><b>妊娠・出産に関する支援の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*妊娠・出産に関する情報提供や相談対応</li> <li>*不妊・不育で悩む方への支援</li> <li>*専門職による面接など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援</li> </ul>
c	<p><b>小児・母子医療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*休日・夜間における小児診療体制の整備</li> <li>*NICU（新生児集中治療室）の増床など周産期医療の整備</li> <li>*こども救命センターの創設</li> </ul>
d	<p><b>家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*両立支援の取組への支援（育児休業等の取得促進や復職支援）</li> <li>*ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた普及啓発・気運醸成</li> </ul>
e	<p><b>待機児童対策・保育サービスの拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*認可保育所・認証保育所などの整備</li> </ul>
f	<p><b>ライフスタイルや就業形態の多様化に応じた様々な保育サービスの提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*パートタイム労働者向けの保育サービス</li> <li>*休日保育、夜間保育、延長保育、病児・病後児保育</li> <li>*学童クラブ</li> </ul>
g	<p><b>保育サービスの質の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*保育従事職員への研修</li> <li>*保育人材の確保・育成</li> </ul>
h	<p><b>就学前教育（幼稚園、保育施設及び認定こども園における小学校就学前の子供に対する教育）の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*乳幼児期の発達や学びの連続性を踏まえた、教育内容や方法について質の高い幼児教育を推進</li> <li>*私立幼稚園に対する教育条件の維持向上等を目的とした支援、預かり保育に対する支援、保護者の経済的負担の軽減のための支援</li> </ul>
i	<p><b>就学後の子供の生きる力（「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」）をはぐくむ環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*授業改善・習熟度別指導など学校教育の質の向上</li> <li>*芸術・文化活動、奉仕活動等</li> <li>*子供の基礎体力向上</li> </ul>
j	<p><b>若者の社会的自立の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*中学生の職場体験</li> <li>*若年層の雇用就業支援</li> <li>*ひきこもり等社会参加支援</li> <li>*ヤングケアラーへの支援</li> </ul>
k	<p><b>児童虐待防止対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*学校、子供家庭支援センター、児童相談所等の連携による児童虐待の未然防止、早期対応等</li> </ul>
l	<p><b>社会的養護を必要とする子供（虐待など様々な理由から親と暮らすことのできない子供）への取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*養育家庭やグループホームの設置促進など家庭的養護の推進</li> <li>*専門的・個別的ケアなど施設機能の強化</li> <li>*施設退所者等への自立支援の強化</li> </ul>
m	<p><b>ひとり親家庭の自立支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ひとり親家庭の就業等に関する個別支援</li> <li>*在宅就業を行うための研修や相談支援</li> </ul>
n	<p><b>障害児施策の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*障害児支援の提供体制の確保</li> <li>*特別支援学校における教育の充実、就労支援</li> </ul>
o	<p><b>子供をインターネット等の有害な情報や薬物・非行・犯罪等から守る取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*家庭におけるインターネット利用のルールづくりの支援</li> <li>*「子ども110番の家」など地域における子供見守り活動の支援</li> </ul>
p	<p><b>親子が安心して生活できる良質な居住環境や外出環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子育て世帯向けの住宅の整備</li> <li>*授乳やおむつ替えなどができる「赤ちゃん・ふらっと」の整備</li> </ul>
q	<p><b>安全・安心の子育て環境づくり（災害時の支援や防火対策など）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害用物資の備蓄や施設の耐震化</li> </ul>

## 東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、946人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながらまとめるなどして掲載するよう努めた。回答者数の内訳及び主な意見・要望と各件数は、以下のとおりである。

回答者数の内訳（単位＝人）

	回答者数
父	302
母	644
計	946

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

	内 容	父	母	合計
1	保育に関すること	32	100	132
2	児童健全育成	7	58	65
3	学校・教育	27	85	112
4	子育て支援	27	146	173
5	児童に関する手当	47	88	135
6	ひとり親家庭福祉	3	37	40
7	住環境	29	77	106
8	バリアフリー	13	24	37
9	保健・医療	21	74	95
10	児童虐待	1	9	10
11	広報	27	45	72
12	調査関係	52	55	107
13	その他	121	248	369
	合 計	407	1,046	1,453

※お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な意見・要望は以下のとおりである。

## 1 保育に関すること

- ・ 待機児童は減っているとはいえ、実際、近所の保育園には入れず、徒歩 20 分の園に通っていません。より柔軟な児童受け入れを検討いただきたい。(30 代、母親)
- ・ 東京都認証保育所をはじめとする認可外保育施設は、待機児童をかかえる家庭にとって貴重な受け皿となるだけでなく、親自身の意志で預け先を決める（あるいは子ども自身の意志で居場所をきめる）ための選択の自由を確保する意義もあります。どうか、今後も各地域に一定数の認可外保育所を確保してくださるよう切にお願いいたします。(30 代、母親)
- ・ 保育士さんのお給料を上げるサポートをしてほしい。お給料が上がればモチベーションも上がり子供達への接し方も変わるはず。(30 代、父親)
- ・ 待機児童の問題に取り組んでくださりありがとうございました。これからも、子育て支援をよろしく願います。働きながら安心して子供を育てることのできる東京都をつくって下さることを望んでいます。(30 代、母親)
- ・ 地方出身者も多い東京都では、実家の協力が得られにくい家庭も多いと思います。我が家も両家が地方なので、ほぼ両親のみで 1 歳・3 歳を子育てしています。育休前の職場復帰を前提にした入園審査でなく、子供を預けたい全ての家庭が保育園を利用できたら、どれだけの親が助かるだろうと思います。子育て(特に乳幼児期)に保育園のサポートを受けられることは、何より良好な親子関係・子供のために繋がるはずです。東京都には一歩進んだ仕組みを整えて欲しいです。(30 代、母親)
- ・ 出生率向上にあたり、親の就業状態に関わらず保育所を利用できるようにしていただきたい。「保育を必要とする者」には働いている人だけではなく、多子家庭等も当てはまると考えます。(40 代、父親)
- ・ 障害児を育てる家族です。未就学児の際の通所先、福祉サービスが乏しすぎます。各地域にとって差があるのも改善してほしい。療育施設の充実を希望します。健常児同等に療育してくれる通園先を各地域で作ってほしい。(30 代、母親)
- ・ もっと病児保育が高学年くらいまで気軽にうけられるといい。(40 代、母親)

- ・ 幼稚園の保育時間を長くして欲しい。給食制にして欲しい。全く自分の時間がなく、疲れが取れません。保育時間が短いので、その後公園で遊ばせ、家事もして、買い物もゆっくり出来なく、本当に専業主婦は疲れます。(40代、母親)

## 2 児童健全育成

- ・ 学童の枠が少なく、小2や小3、それ以降は入れるかどうか心配。保育園の充実も大切だが、学童にも力を入れてほしい。物騒な世の中なので小さな子供のお留守番はなるべく避けたい。(30代、母親)
- ・ 現在学童保育に入所していますが、3年生から入れない可能性が高く、困っています。放課後子供教室も長期休みはお休みになり、子供が安心してすごせる場の整備をお願いします。(40代、母親)
- ・ 長期休暇(夏休み・冬休み)中の学童での昼食提供。(40代、母親)
- ・ 中高生が集まって過ごせる場がありません。私立進学でばらばらになる子供が集まれる場が平日夜や週末にあるといいです。(30代、母親)
- ・ 子供達が自由に外で遊べる場所の充実、また、近年、夏休み中は気温が高過ぎで戸外へ出られないので体を動かせる屋内施設の充実を図ってほしい。(30代、母親)
- ・ こどもに障害がある。現在は、放課後等デイサービスの利用で親は就労出来ているが、将来福祉作業所等に行くことになると、帰宅時間が早い所が多いため、仕事を続けられるのか不安。また、ひとりっ子のため、親なき後の将来についても不安がある。(40代、母親)

## 3 学校・教育

- ・ 長男が公立小に通っています。良い先生ばかりですが、子供の数に対し、圧倒的に先生の数が足りず、先生の余裕がないのではないかと感じます。授業のサポート、事務的な仕事、専門的内容(体育、音楽、学芸会…)などは、(教員免許がない方を含んだ)分業化を推進することなどで先生方に時間的な余裕を作ってあげて頂きたいです。(30代、母親)
- ・ 現在、不登校の子どもたちが増えています。学校に行けなくなっても本来行くべき学校以外に学べる場だったり、遅れを取り戻すための場を作ったり、そういった場の支援をして欲しいと思います。未来のある子どもたちのための支援よろしくをお願いします。(40代、母親)

- ・ 小学校まで発達障害へのサポートが手厚いですが、中学以降の方が不安は大きいです。進学先や相談先など小学校以降も拡充をお願いします。（40代、母親）
- ・ 発達障害等の子供に対する支援・サポートに周りの子供（障害のない子供）の成長にも大切だと思います。障害の有無でクラスを分けるのではなく、同じ空間、教室で様々な子供が過すことで、子供が社会に出るまでの多様性への理解も育まれるので、ほどよく共生する環境の創造を期待しています。よろしくお願いします。（30代、母親）
- ・ 子ども関係に関しては、教育委員会との連携をとってほしい。（40代、母親）
- ・ ひとり親やそれ以外の収入の少ない家庭の子供でも十分に学び、進学できるような助成制度や学習の支援のシステムがあればよいのと思う。経済力のない家庭に生まれた子供は学びたくても学べない状況にある。そこをどうにか改善できる制度を整えてほしい。（40代、母親）
- ・ 子供が、心身衰弱となり高校に行けなくなり、公的機関に相談をしましたが、形式だけの回答となり、何の力にもなって頂けませんでした。今、現在も息子は働く事も出来ず、親子で苦しんでいる状態です。全国には、我が家同様辛い思いをしているご家庭があるかと思います。その様な方々から相談があった際には、是非助けてあげて欲しいと心から願います。（40代、母親）
- ・ とにかく教育に、お金がかかりすぎて不安。大学全入時代とか言って、ローン組んでまで、大学へ行ったり…でも行かないと、就職が…とか…（その為に塾へ行ったり）地方と違って、進学率が高いから？普通でいいのに、普通にお金がかかりすぎる気がします。（50代、母親）

#### 4 子育て支援

- ・ あかちゃんファーストで10万円分のサービスがあり、育児のために使うことができ大変ありがたかった。家電やオムツ、託児サービスなど 選択肢も多く、子どもの月齢に応じて選ぶことができた。（30代、母親）
- ・ 私が現在働いている職場は、お子さんがいらっしゃる方も残業時間が多く、深夜に働いている方もいる状況です。会社としてはワークライフバランス、働きやすい職場をアピールしていますが実態は仕事中心にならざるを得ない方も多い印象です。国や東京都としても、今後も働きやすい社会への取りくみを継続していただきたいです。（30代、母親）

- ・ とにかく時間に追われて生活している毎日です。様々な施策があっても、情報を能動的に取りに行く必要があり煩わしいと感じてしまうのが正直なところです。自営業と会社員でも様々な違いがあり、自営業者に対する子育ての支援ももう少しあったら有難いと感じます。(40代、父親)
- ・ 妊娠、出産、子育てに行政の支援があっても、心に余裕が無い状態なので、支援を求める事自体がきつい。たくさんのパンフレットの中から自分に必要なサービスを選び電話やメールをして自分の状況を正しく伝えるのは難しい。それに相談しても「お母さん大変だね、でも頑張つて。みんな同じだよ。」と言われるだけかと思うと何もかも無駄に思える。支援の質を高めてほしい。(40代、母親)
- ・ 子供を預かってくれるサービスがいろいろあることは知ってはいましたが、窓口での事前登録が必要であったりともその場で頼れるシステムではなく、利用をあきらめました。気軽に、安心して、頼りたいときにすぐ頼れるサービスがあればいいのになと思います。(30代、母親)
- ・ 幼稚園まで自分で育児をする人を、もっと支援して下さい。自分で子育てをすることを選択した家庭に、児童手当の増額などをして、家庭保育の人を増やせば、保育士不足の問題を解消し、町にも子育て中の親子の姿が増え、社会全体で子育てをする雰囲気生まれるのではないのでしょうか。(40代、母親)
- ・ 自治体で様々な取り組みやサービスがありますが、重度のアレルギーがあることで利用できなかったり、敬遠されることがあり残念に思うことがあります。安心して利用できることがあたりまえになる社会をつかってほしいです。(40代、母親)
- ・ 今の子育て支援の中心はほとんどが産前～就学前ですが、実際にお金がかかるのは中学生以降になるのにそこから支援がまったく無いのが辛い。あったとしても所得制限があり、不平等さを感じる。(40代、母親)
- ・ 都内での子育ては、地方に比べてお金がかかります。産む時も含めです。他県で暮らすには職場の事を考えると難しいので都内に住まわせてもらっていますが、もっと子育て世代に支援があっても良いのではないのでしょうか？(30代、母親)
- ・ 施策がたくさんあり、ありがたいが、実際に利用したい時にどのようにしたら良いか分かりづらい。困った時に気軽に相談をするまでにハードルが高い。何か困ったら、この場所に相談すれば教えてくれるという窓口があると良い。(30代、母親)

## 5 児童に関する手当

- ・ 児童手当など経済的な手当の充実について。収入制限が設けられていることに不満がある。子どもにかかる手当は収入制限なく一律に支給されるべきだと強く思う。(50代、母親)
- ・ 児童手当の所得制限など、国の子育て支援が全くあてにならないので、都や市区町村での金銭的な支援があると本当に助かります。(20代、母親)
- ・ こどものためのものなのに親の所得制限で児童手当がでなかったり、世帯収入でなく世帯主収入が基準だったり色々と不平等。(40代、母親)
- ・ 子ども医療費助成や児童手当など、大変助かっております。子育て世帯向けに更なる負担減のため、減税措置や児童手当の拡充があると助かります。(40代、父親)

## 6 ひとり親家庭福祉

- ・ とにかく生活が苦しいです。金銭的にとても困っています。周囲のサポートもなくひとりで仕事も育児も頑張っているひとり親への救済措置を強くお願いしたいです。(40代、母親)
- ・ ひとり親の場合、自分が具合悪い時子どもの世話をどうするか心配になる人が少なくない。私の場合は近くに両親がいるから助けてもらえるけど同じひとり親でも本当に一人で自分が倒れたら…と言う人がいた。そういうときのサポート対策があるといいと思うし、病気で食事が作れないときに気軽に頼める宅配お弁当サービスがあると良い。(40代、母親)
- ・ 離婚したせいでつらい思いも寂しい思いもさせてきたけど、行政にまもられたことも多く、ここまでこられたと思っています。自分達がまもられていることに気づいてない方も多くいらっしやると思います。日本だから、東京だから安心して子ども達を育ててこられました。感謝しています。(40代、母親)
- ・ 元夫による子供への虐待のため離婚しましたが、別居から離婚するまでの約4年間、ひとり親の支援が受けられずに困窮しました。DVもあり、シェルター保護もありましたが、別居までの間に一旦、自宅に戻ったためDVとしての認定が出来ないとのことで、ひとり親状態としての支援も受けることが出来ませんでした。今後、同じような方々のために、正式な離婚までの間の支援の充実もご検討ください。(50代、母親)

- ・ ひとり親になり、新型コロナウイルス感染が拡大し、給付金や物資の支援等沢山の支援をありがとうございます。おかげ様で生活できています。調査がまとまり本当に支援を受けたい人の助けになって欲しいと願います。（40代、母親）
- ・ 障がい者、障がい児の親なのですが仕事をするのがすごくむずかしいと感じて何年もたちます。ひとり親家庭でも障がい児というだけで受けられないサービスしか今の所ないのでひとり親サービスも無意味です。ひとり親家庭の支援があるなら、もっとひとり親の障がい児支援も考えて頂きたい。（30代、母親）

## 7 住環境

- ・ 子供が安全に、思い切り遊べる公園を整備していただきたいです。（30代、母親）
- ・ 地域のお年寄りと子供達が自然に交流できる場がもっとあればよいと思うことが多いです（公園など）。様々な立場の方々が思いやりを持って暮らしていけるよう、街や居住空間、広場の整備をお願いしたいです。（40代、母親）
- ・ 子供の金切り声で地域の住民からクレームをもらうのではないかと、という懸念があるため、もっと公園の面積を広くするか、はしゃいでも迷惑にならない施設があると良い。（30代、父親）
- ・ 子供を小学校と幼稚園に通わせています。どこでも元気いっぱいの子供です。ですが、幼稚園から出ると、少し走ったり大きな声を出しているだけですぐに幼稚園にクレームが入ります。子供が泣いているだけで、近所の方に怒られます。周りのママ友もご近所トラブルが多く、マンションの下の階からいつもうるさいとクレームが入る、と。怒られたり注意されるばかりで、とても肩身がせまいです。（30代、母親）
- ・ 小さな子どもが遊ぶ公園や路上で平気でタバコを吸う人がいる。受動喫煙防止にもっと力を入れてほしい。（30代、父親）
- ・ 街灯を明るくしてほしい。冬は17時でもだいぶ暗くなるので、子供の1人帰りが不安です。（30代、母親）
- ・ 安心・安全な子育てをしていくためには、道路・交通面の安全、不審者対策等も、東京都、各局・連携してさらなる充実を計っていただけると助かります。（30代、父親）

## 8 バリアフリー

- ・ 駅のエレベーターが少ない。エレベーターの設置場所が遠い場合が多く導線が悪い。(30代父親)
- ・ ベビールームをピンク色にするのを止めてほしい。パパが入りにくい。授乳室のカギが、カーテンのみや、カギが無い場所がある。ママ1人だと防犯面で不安がある。ベビールームに、離乳食をあげるスペースを作ってほしい(無い所が多いので)。(30代、父親)
- ・ 双子ベビーカーでバスに乗車する時に嫌な顔をされ、接客態度も悪かった。(20代、父親)
- ・ 歩道の段差をなくしてもらえると、ベビーカーが押しやすくなるのでお願いしたいです。(30代、母親)
- ・ 子連れだと多目的トイレがありがたいが、使用中が多く、待っていると中からオジさんが出てくる事が多い。子連れ、車イス利用者等、サポートが必要な人のみが見えるトイレにした方が良くと思う。(40代、母親)
- ・ 児童館の乳幼児遊び場を1階にして欲しいです。我が家は下が双子なので児童館の入口に行くだけでひと苦勞(2階だったので)でした。児童館やこどものあそび場がバリアフリーで利用しやすい場所にどんどん進化していけば良いと思っています。(40代、母親)

## 9 保健・医療

- ・ 子供の医療費が無料なのはとても助かっています。ありがとうございます。平日は仕事があるので、土日に気軽にいける病院が増えると嬉しいと思います。(30代、母親)
- ・ 子供が生まれてから東京都に住みましたが、一番違いを感じたのは子供の医療費です。重い病気にならなくとも、病院に行く回数が多い子供の医療費がかからない点は、東京に引っ越してとても助かったと感じています。ありがとうございます。(30代、母親)
- ・ 子供が小さい時は、休日診察を探すのに困り、受診出来ても遠く、薬局は更に遠かったりと、困りました。小さな地域で医院の休日をずらして、歩いて行ける休日医院を提供して欲しいと思いました。毎年、持ち回りで休日医院を当番制にしてもよいかもしれません。(50代、父親)
- ・ 妊婦検診にかかる費用が高く、検診に行くことをためらってしまう。補助券を利用しても高額なため、公費負担にして欲しい。(30代、母親)

- ・ 出産費用が高額なのでもう少し支援して頂けると有難く思います。産後ケア施設を充実させて欲しいです。核家族、親の高齢化で里帰り出産できない方も多いと思うので。日帰り利用など気軽にできるといいと思います。（30代、母親）

## 10 児童虐待

- ・ 貧しい家庭の子供がつらくならないように、子供食堂の充実と虐待防止に税金を使っただきたい。（40代、母親）
- ・ 全ての子どもたちが今よりもよい未来を迎えられるよう、虐待や障害、貧困など複雑な事情を抱えた子をきちんと助けられる体制を整えてもらいたいです。きっと私が知らないだけで、いろいろな取組や支援がたくさんあるのだと思いますが、そういったことを知らない世帯は多いと思います。問題を抱えている世帯ほど孤立しやすいと思いますし、そうさせない仕組み作りをしてほしいです。（30代、母親）
- ・ 働かなくて、子育てを自分でしたいという家庭、子育てをサービスに頼りながら仕事をしていきたいという家庭、それぞれが子育てしながら生き生きと過ごせるような支援の体制の充実を図ることが、児童虐待の防止やより良い子供とのふれあいができることにつながっていき、皆が健全で幸せな日々を過ごしていける社会が出来ていくと思います。（40代、母親）
- ・ 東京都含め、国全体として子育てしやすい環境になってきていると思います。ただ、子供に威圧的な態度やたたくのは虐待ですと警告を出されても、追い込まれている母親には逆効果だと思います。こちらもそうしたくてしているわけではなく感情のコントロールが出来ずにしてしまったり、あとで反省したりの繰り返しなのですから。追い込まれない環境づくり＝リフレッシュするための一時預りの充実を行って欲しいです。（40代、母親）

## 11 広報

- ・ 福祉施策に関しては当事者にならない限り知りえないので、なにかしらのアピールは必要なのでは？母子手帳等にQRコードをつけて、各種サービス施策一覧ページにリンクさせるなどをすれば、広く施策の周知にもつながるかと思います。（40代、父親）
- ・ 東京都の様々な取組についてもっと周知をしてほしい。出産時に一気に説明があり、それで「はい、おしまい」という印象です。必要に感じている情報しか受け取れないので出産家庭に月間で情報誌（Webでも可）を出し、重要な施設やサービスを提示してほしい。（30代、父親）

- ・ 取組等、もっとアピール、周知してほしいです。知らない、わからない…と感じたものがとても多く、残念に思いました。（30代、母親）
- ・ シングルマザーです。アンケートを通じて、東京都が子育て支援に関する施策をこれほどたくさん行っていることを、初めて知りました。このような取り組みは、実際に問題を抱え援助を必要としている人達にとって、とても心強いものですが、都民にあまり認知されていないことに問題があると思います。（50代母親）
- ・ 私が出産した頃に比べて、世間的にも配偶者（男性）の家事・育事の参加率が激増したように思います。それは居住地域の保健行政の拡充の効果というよりは、メディアや SNS による母親たちの情報発信によるものが大きいと思います。もっと行政もうまく活用すべきです。（30代、母親）
- ・ 年々すごくよくなっていると思う。ただ情報の発信の仕方は微妙だと思う。困ったときにたどりつけない。子供が発達障害の指摘を受けて、いろいろ調べたけれど、医療機関にたどり着くのも大変で病院の先生も不親切だった。結局病院も予約がなかなかとれず、うやむやになり、自分で勉強してできる限り対処してきたが本当にそれでよかったのか不安が残っている。（30代、母親）
- ・ もっと男性の家事や育児参加を促進するようなポスターを貼ったり、呼びかけたりして、男性の意識を変えるようにして頂きたい。（40代、母親）

## 12 調査関係

- ・ 回答が大変すぎると感じます。Web 上で回答できるようにする等の改善を強く希望します。（40代、母親）
- ・ この様な調査も多大な税金が使われていて、デジタル化する事でもっと効率良く出来るはず。改善を望みます。（50代、父親）
- ・ もっと ICT 化を進めるべきです。インターネット、スマートフォンがこれだけ普及する中、紙の配布、回答は非効率的です。その後集計作業に使う事務経費も、もったいないと思います。職員の労働時間減にもつながると思うので検討すべきです。（30代、母親）
- ・ 今回のようなデジタルでの手続きは参加しやすくありがたいです。その他の手続きもデジタル化されると色々やりやりやすいです。【インターネット回答地区】（40代、父親）

- ・ 本アンケートについて①郵送による案内の送付②訪問によるアンケート用紙の手渡し、という2段階に分ける意味が理解できませんでした。小さい子供がいる家庭においては、訪問時にチャイムが鳴るだけで、子供が泣いてしまう等、負担があることをご理解いただきたい。(20代、父親)
- ・ アンケートに答えてみて、自分が知らないだけで、様々なサービスや支援があるのだな、と解りました。いざとなった時に、少しでも苦しみや辛さを緩和できる様に普段から、取り組みや制度を調べてみる事が大切だなと思いました。知る機会を、与えて下さり、ありがとうございました。(40代、母親)
- ・ 小学生の子供2人にも回答させましたがむずかしい。オンラインで文章をよんでくれて回答できる事ができれば、子供だけでできるとは思いますが、むずかしく、わかりづらい質問がありました。もう少しことばをく Давайте頂けたらと感じました。(40代、母親)
- ・ 「未来」のための大切な調査なのだと思います。しかし「今」私は何をすることも時間がなく、日々睡眠時間を削り、体力を削っています。「今」の私はこの調査のために時間を奪われただけです。(40代、母親)

### 13 その他

- ・ 子どもへの性犯罪について。予防のためトイレは男女の区別をしっかりとつけ入り口にて男性が女性トイレに入ることがないように明るくしたり、鏡をつけたり明確なマークをつけたりして欲しい。子どもへの防犯教育を充実させて欲しいです。(30代、母親)
- ・ 子どもに関するものの所得制限をなくしてほしいです。(30代、母親)
- ・ 東京都の福祉施策が税金の無駄使いにならないように、また施策がきちんと望んでいる人たちに届くように心から願っております。(60代、母親)
- ・ もう一人産もうと考える際にネックと感ずるのは、希望の園に入れるかギリギリという保活への不安と、所得制限などで子供に満足のいく教育をうけさせられるか分からない不安です。その部分がクリアになれば、もう1人育てることも視野にいれたいと考えています。(30代、母親)
- ・ 体感としてもこの5年で大分変わった(保育園に入りやすくなった、幼稚園の無償化などもですし、会社の考え方の変化で男性の子育て参加率が増えていることなど)ので、正直今の5才くらいの子供がいる方々と小学生高学年の子供がいる私達でもとらえ方が全くちがいます。単に子供がいる家庭でひとくくりにししないで、細かく分けて考えてほしいです。(40代、母親)

- ・ 出産後、育児に専念する為、育休後仕事をやめました。上の子は小学校入学。下の子は幼稚園入園し、自分の時間が増えたので、時短で働こうかと検討しておりますが、なかなか見つかりません。子育て中のママでも働きやすい社会になって欲しいです。（40代、母親）
- ・ 男親に対する教育・情報提供（父親学級など）をもっと充実させてほしいです。よく父親は母親に対して自覚が芽生えづらいついという言われますが、出産前1後から子育てに至るまで、女性に比べて圧倒的にインプット情報に触れる機会が少ないことも一因だと思います。（30代、父親）
- ・ 里親家庭となることに関心があります。しかしながら、我が家の養育環境（住居の広さ）が里親の要件を充たさず、里親になることができません。施設養育も重要ですが、里親養育も本気で進めて、地域全体で子どもを支える社会を作っていくべきです。（40代、父親）
- ・ 子育て支援の充実も必要ですが、少子高齢化を考えれば、まずは「結婚したいのにできない」人を減らす政策の方が緊急度が高いと思います。出会いの支援、若者の所得、生活への支援が重要ではないでしょうか。（40代、父親）
- ・ 福祉保健行政に関してかは、わかりませんが、日本社会全体に対して。父親の働く時間が長すぎる。これが子育て世代の1番の問題だと思います。周りのママ達と話していても、いつもここにたどりつきます。「子育て」＝「両親ですること」なのに、平日は母のワンオペという家庭が多いです。それでは女性が社会、仕事の中で上になることもむずかしいだろうと思います。（30代、母親）
- ・ 男性の育児休業等の制度をもっと浸透させて下さい。義務化されましたが、当人の理解を深めることも重要。（40代、父親）
- ・ 「出産、子育て」は「母親がすべきこと」という固定概念が社会全体（政治、行政、社会全般、企業、地域、学校など）から消え、「出産、子育て」は「社会、地域全体で取り組むもの」へと変えていってほしいです。（30代、父親）
- ・ 一人親になり、新型コロナウイルス感染が拡大し、給付金や物資の支援等沢山の支援をありがとうございます。おかげ様で生活できています。調査がまとまり本当に支援を受けたい人の助けになって欲しいと願います。（40代、母親）

- ・ 子供達には1人ずつ学資保険には入っていますが、必要になった時に全然足りないと思います。また家や車の収容力、行楽地、習事での出費を考えるとこれ以上子供が増えるのは難しいかなと思います。経済的な不安や将来の学資の不安がなければもっと子供は欲しいです。(30代、母親)
- ・ 子どもの声を聴き、子どもを産み育てやすい社会になってほしいです。(40代、母親)
- ・ 子供達は宝であって、子供達がいるところには未来があるので、子供達のためにお金を使ってほしいと思います。(30代、母親)